

リアホナ

神殿に行く青少年が
増えています——
備えができるように
助けてあげましょう、
18ページ

新たな視点から
自分の伝道を見る、42ページ

悔い改めるために、
ビショップからどんな助けが
受けられるでしょうか、58ページ

イエスさまは、
いじめっ子でさえも
愛する^{あい}ようにと いわれました、
68ページ



「わたしたちは
八方ふさがりの状況に
陥ることがあります。
けれども、
神の光に希望を
見いだすことができると、
神は約束しておられます。
わたしたちの
行く手を照らし、
闇やみから抜け出す道を
示してくださる
という約束です。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長
「神の光のもたらす希望」
『リアホナ』2013年5月号, 70



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
救助の責任
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの聖なる召し
——創造主

特集

- 12 自らの務めを十分に果たしなさい
クエンティン・L・クック長老
匿名で行動することがかつてないほど容易になった現代において、仮面をかぶらないということには、重要な原則が含まれています。
- 18 10代の若者と神殿の聖約
ゲリー・カーター、スーザン・カーター夫妻
子供たちが神殿参入の準備を始めるのは今です。
- 20 偉大な伝道の受け継ぎ
ラリー・ポーター・ガント、
リンダ・デッカー・ロベス
今も昔も、宣教師は皆、人の人生をすばらしいものにするために働いています。
- 26 戦いの日に備える
エドアルド・ガバレット長老
人生のまっただ中で、自分の運命を、最も簡単な原則を基に決めることができます。

30 アンモンのように
リチャード・M・ロムニー
道を踏み外した人々を救うために何ができるでしょうか。今日のわたしたちがアンモンから学べることはたくさんあります。

34 平和の人となる
マシュー・D・フリットン
福音が一人の男性の心を変え、それによって家族が一つとなりました。

シリーズ

- 8 10月の大会ノート——
総大会のアイデア
ティナ・スペンサー
- 9 『若人の強さのために』の教え——
心身の健康
- 10 教会のニュース
- 38 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
わたしは誓います……
R・バル・ジョンソン

表紙

表紙——フォトイラスト/コーディ・ベル
裏表紙——フォトイラスト/コーディ・ベル
内表紙——フォトイラスト/iStockphoto/Thinstock

42



42 どうすれば宣教師として成功することができるでしょうか
 ローレン・バンガター・ワイルド
 わたしたちはことあるごとに断られたので、がっかりしました。成功の新しい定義を見いださなければなりませんでした。



こんげつごう なか
 今月号の中に
 かく
 隠れている
 リアホナを
 さが
 捜しましょう。
 ヒント——
 フルーツを分けて
 あげましょう。

46 PMG 宣教師になる
 デビッド・A・ベドナー長老
 この5つの条件を満たせば、さらに良い宣教師になることができますよ。

51 ただほほえみながら「いいえ」と言う
 ヘーゼル・マリー・ティビュール
 どうすれば社長の勧めを断ることができるでしょうか。

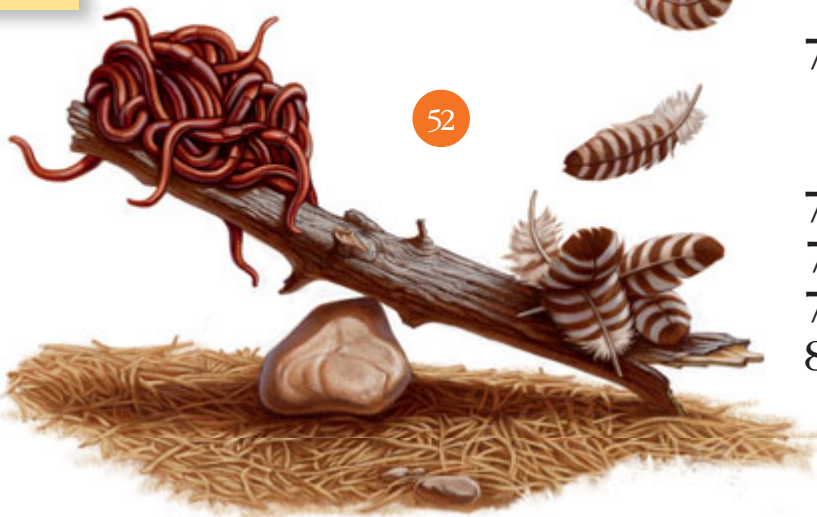
52 若人の強さのために——強く、健康で、賢くあれ
 アドリアン・オチョア長老
 運動靴を履いて始めてください!

54 主の足跡に従う
 メリッサ・センチノ
 救い主イエス・キリストのようになることは、最先端の物理学と同じくらい難しいことのように感じられますが、その過程はまず、自分で最初の一步を踏み出すことから始まるのです。

56 質疑応答
 教会の標準に従って生活していない教会員がいるのはなぜかと会員でない人に尋ねられたら、何と答えればよいでしょうか。

58 ビショップに告白する必要があるのはなぜでしょうか? 何について告白する必要がありますか?
 C・スコット・グロー長老
 悔い改めは、主と自分だけの問題です。なぜビショップと話す必要があるのでしょうか。

52



61

61 救い主を招き入れる
 O・ピンセント・ハレック長老
 主は、あなたの生活に招き入れられるのを待っておられます。

62 ぴかぴかの執事1年生
 ジェーン・マクブライド・チョート
 ベンジは聖餐のパスがうまくできるか不安でたまりませんでした。ほんとうにできたのでしょうか。

64 歴史をたどる旅——
 ウィンター・クォーターズにとどまる
 ジェニファー・マディー

66 ウィンター・クォーターズにとどまる聖徒たち
 アリー・パン・デ・グラーフ

67 特別な証人——
 イエス・キリストは預言者にどのように話されるのでしょうか
 D・トッド・クリストファーソン長老

68 バイオレットを助ける
 シャーロット・メイ・シエパード
 バイオレットは、いつもエマに意地悪でした。エマがバイオレットに親切にするべきなのはなぜでしょうか。

70 初等協会を かていでも——
 わたしは かみの すべての子どもたちと ふくいんを分かち合います

72 ニューヨーク市に すむ カミール

74 わたしたちの ページ

76 ちいさな おともだちへ

81 よげんしゃの ポートレート——
 デビッド・O・マッケイ

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトル

十二使徒定員会: ボイド・K・バッカー、L・トム・ベリ、ラッセル・M・ネ
ルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、リチャード・G・
スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホルンド、デビッド・A・
ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長: クレグ・A・カードン

顧問: シェーン・M・ボーエン、ブラッドリー・D・フォスター、クリストフェ
ル・ゴールデン、ジュニア、アンソニー・D・パーキンス

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワナー

家族・会員支援ディレクター: ビンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボグ

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー、ラリン・ポーター、ガーン

出版補佐: ミリッサ・ゼンデ

執筆・編集: スーザン・バレット、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エド
ワーズ、マシュー・D・フリットン、ミンディ・ライ・フリードマン、ローリー
フラ、ギャリー・H・ガーフ、ジェニファー・グレース・ジョーンズ、マイケ
ル・R・モリス、リチャード・M・ロムニー、ポール・バンデンバーク

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、C・キン
ボール、ボブ、トーマス・チャンドル、ネト・ギネス、クリー・リン・C・
ヘリ、コリーン・ヒンクレー、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフグ
レン、スコット・M・ムーイ、ブラッド・テアー

著作権および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: シェーン・アン・ピーターズ

制作: ケビン・C・バンクス、コニー・パウソープ、ブリッジ、ジュリー・
バーデット、ブライアン・W・キユギ、デニス・カービー、ギニー・J・エリ
ン、ゲイル・テイ、ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: スティーブン・R・クリスチャンセン

日本語版翻訳課長: 佐藤聖志

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替
(口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-
41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ
……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・
キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大会号 80円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。
Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セ
ブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク
語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、
イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガ
スカル語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルト
ガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、ス
ワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクラ
イナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2013 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

October 2013 Vol. 37 No. 10. LIAHONA (USPS 311-480)
English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。



フットモントレーク・タイムズ

「PMG 宣教師になる」46 ページ——
家族で『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の5つの特徴について話し合ってください。その後、そこから学ぶ原則について練習してみてください。『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の一部を簡単に皆で予習し、順番に宣教師と求道者になり、宣教師のレッスンの短い練習をしてください。伝道活動で大変なことについて話し合い、デビッド・A・ベドナー長老が説明している特徴を育む方法を話し合ってみてもいいでしょう。

「強く、健康で、賢くあれ」52 ページ——
アドリアン・オチョア長老の記事を読んだ後で、体を動かせる活動を家族と行うことを計画してみてください。スポーツをしたり、散歩をしたりしてもいいでしょう。活動は、家族の年齢や能力に合わせて行うようにしてください(例えば、年上の子供に年下の子供の手助けをするように頼んでもよいでしょう)。その後、活動的な生活様式の良い点を話し合ってください。また、健康に気を配るようにという、生ける預言者の勧告に家族が継続して取り組めるように計画を立てるのもよいでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

イエス・キリスト, 7, 76
開拓者, 64
活発化, 4, 30
逆境, 42, 64, 68
教会歴史, 64, 66
キリストのような特質, 54
悔い改め, 58
啓示, 67
健康, 9, 52
高潔さ, 12, 51
告白, 58
言葉遣い, 80

子供, 76
裁き, 56
慈愛, 4, 20, 34, 68
神権, 62, 76
神殿, 18, 34
聖霊, 41, 46
創造, 7
備え, 26
知恵の言葉, 9, 51, 52
伝道活動, 20, 30, 40, 42,
46, 61, 70, 72
ビジョップ, 58

標準, 56, 80
平和, 34
冒瀆, 80
マッケイ, デビッド・O, 81
目標, 12, 54
模範, 12, 56
友情, 39, 40, 72
誘惑, 51, 80
赦し, 58, 68
預言者, 67
『わたしの福音を宣べ伝えなさい』,
42, 46, 54



トーマス・S・
モンソン大管長

救助の責任

何らかの理由で教会から離れてしまった兄弟姉妹を救助する必要性は、末日聖徒にとって不変の重要性を持っています。そのような人たちのことを御存じですか。かつては福音に従って生活していた人たちです。もし御存じなら、そのような人たちを救助するために、わたしたちにはどのような責任があるでしょうか。

高齢者、夫に先立たれた人や、病人の中にいる、迷える人々のことを考えてください。このような人々が孤独という、乾き切ったわびしい荒れ野にいる姿を、わたしたちは度々目にしています。若さが失われ、健康が損なわれ、気力が衰え、希望の光がぼんやりとして消えかかるとき、助けを与える手と思いやりを知る心によって救われ、支えられるのです。

もちろん、救助を必要とする人はほかにもいます。罪に苦しむ人、恐怖心や無気力、無知のためにさまよう人もいます。理由は何であれ、そのような人々は教会から離れて孤立しています。教会に活発に集っているわたしたちの心の中に、救助したいという願いがわき起こらないかぎり、彼らが道に迷ったままではいることは確かだと言えるでしょう。

だれかが道を示す

少し前にわたしは、教会から離れた人から1通の手紙を受け取りました。その手紙には、あまりにも多くの教会員が抱く気持ちが典型的に表れています。その男性は教会から遠のいた経緯を説明した後、こう書いています。

「わたしは以前、非常に多くのものを持っていましたが、今持っているものはほとんどありません。今のわたしは不幸で、何もかも失敗に終わっているように思えます。福音はわたしの生活からなくなりましたが、わたしの心からは決して離れていません。どうか祈っていただきたいのです。

わたしたちのように教会から離れ、迷っている末日聖徒をどうぞ忘れないでください。教会がどこにあるかは知っています。でも時々、わたしに道を示し、励まし、恐れを取り去り、証を述べてくれる人が必要だと思うこともあります。」

わたしはこの手紙を読みながら、有名なビクトリア・アルバート美術館を訪れたときのことを思い出しました。イギリスのロンドンにある世界有数の美術館です。そこには、ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナーが1831年に描いた傑作が、すばらしい額縁に収められていました。その絵画には、重々しく立ち込めた黒雲と荒れ狂う海の猛威が描かれ、危険と死の前触れを表していました。座礁した船の明かりが遠くを照らし、前景には大型の救命艇が、押し寄せる荒波に高く揺れていました。嵐に向かって突進する救命艇に乗った男たちは全力でオールをこいでいます。岸边では、夫人と二人の子供が雨に濡れ、風に打たれながら立ち、心配そうに海を見詰めていました。わたしは心の中で、この絵画のタイトルを自分なりに短くまとめ、『救助に向かう』と名付けました。¹

人生の困難の中には危険が潜んでいます。男女を問わず人は自分が窮地に陥り、破滅の危険にさらされていることに気づきます。心地よい家庭や家族を後に残し、救命艇に乗って救助に向かうのはだれでしょうか。

わたしたちの責務は達成不可能なものではありません。わたしたちは主の用向きを受けているのです。ですから、主から助けていただく資格があるのです。

主は人々を教え導いておられたとき、ガリラヤで漁師たちを召し、網を捨てて御自分に従うように求め、こう明言されました。「あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」² わたしたちが人をとる漁師の救援隊に加わり、できる限りの助けを与えられるよう祈っています。



教会の安全な活動から離れてしまった人々を救助するために手を差し伸べることは、わたしたちの務めです。そのような人々が主の食卓に連れて来られ、御言葉をよく味わい、主の御霊の導きを受け、「もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族」になるためです。³

愛の原則

教会へ戻り、態度や習慣、行動を変えるための重要かつ根本的な理由は二つあります。教会に戻る第1の理由は、自分の持っている永遠の可能性をだれかが示してくれて、その可能性を達成しようと決意するのを助けてくれたからです。活発に教会に集っていない会員は、そうしたすばらしい可能性が自分の手の届くところにあることが分かると、いつまでも平凡な生活を送ることに満足できなくなるのです。

教会へ戻る第2の理由は、愛する者や「聖徒たちと同じ国籍の者」が救い主の勧告に従い、自分を愛するように隣人を愛してきたからであり、⁴

ほかの人の夢や理想を実現するのを助けてきたからです。

このような過程を促進する力は、これまでも、そしてこれからも、愛の原則にほかならないのです。

まさしく現実的な意味で、ターナーの絵に描かれている嵐の海にもまれている人々は、教会に活発に集っていない多くの会員に似ています。救命艇で向かう人たちが救助してくれるのを待っているのです。彼らの心は助けを求めています。母親や父親は、息子や娘のために祈っています。妻は、夫に助けの手が差し伸べられるように祈っています。子供が親のために祈っていることもあります。

わたしたちが教会に来ていない会員

を救助し、イエス・キリストの福音の喜びを再び味わってもらいたいという願いを持てますように、そして活発に集うことから得られるすべての祝福にもあずかれますようにお祈りします。

わたしたちの周囲にいて迷っている人々を救助するために手を差し伸べましょう。高齢者や病人、夫に先立たれた人、障がいのある人、活発に教会に集っていない人、戒めを守っていない人などです。助けを与える手と思いやりの心を示しましょう。そうすることにより、彼らの心に喜びをもたらし、永遠の命へ通じる道を歩む途中で人を助けるときに覚える、深い満足感を味わうことでしょう。■

注

1. 絵画の完全な題名は次のとおり。「遭難信号を発する座礁した船に向かう救命艇とマンピー装置」
2. マタイ 4:19
3. エペソ 2:19
4. マタイ 22:37-39 参照

このメッセージから教える

訪問先の人々に、教会に来ることを困難に感じている人がいないかどうか尋ねてみてください。だれか一人を選び、愛を示す方法について話し合うとよいでしょう。例えば、家庭の夕べや食事に招待するなどです。

ジェンという贈り物

ジョシー・S・キルバック

わたしは高校2年生のとき、次々に間違った選択をしました。その結果、深刻な事態となり、惨めな日々を過ごしていました。夏休みを機会に、生活を変えようと決心しました。再び学校が始まると、トイレの中やだれもいない廊下で昼食を取りました。わたしを連れ戻そうと待ち構えていた悪い仲間たちを避けるためでした。

これほど深い孤独感を覚えたことはありませんでした。

その後、神様はわたしに贈り物を下さいました。ジェンを送ってくださいました。彼女はわたしの間違いを裁くようなことは決してせず、正しい方へ前進し続けるように励ましてくれました。

ジェンが学校にいるということが、続けて聖文を読み、証を培う助けになりました。卒業するころになると、変わろうという決意が強くなっていることが分かりました。

ジェンが手を差し伸べてくれなかったら、今ごろ自分はどこにいるだろうかと、時々考えることがあります。彼女がいなくても、原則に従い続けることができたでしょうか。幸運なことに、それは知る由もありません。なぜなら、彼女がいつも一緒にいたからです。いつも心から進んでわたしを助けたいと思っていてくれたのです。

著者はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

こども

きょうじよする ほうほう

トーマス・S・モンソンだいかんちょうは つぎのように 教えています。わたしたちは ほかの 人を たすける ひつようが あります。おとしより、おっとを なくした人、あまり きょうかいに 来ていない人、とく

べつな たすけが ひつような 人 などです。下の 絵を見て、ほかの 人を 助けるために 自分に できそうな ことを 丸で かこんでください。



ほかの 人を 助けられる ほうほうを いくつか 下に 書いてください。この絵を つかって 考えても よいで しょう。

祈りをもってこの資料を学び、訪問先の姉妹に何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。救い主の生き方と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、あなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 聖なる召し—— 創造主

これは、救い主の使命の特徴を扱う「家庭訪問メッセージ」シリーズの第1回です。

イエス・キリストは「天地……を創造」されました（3ニーファイ9：15）。天の御父の指示の下で、神権の力を通して創造されたのです（モーセ1：33 参照）。

トーマス・S・モンソン大管長はこう言っています。「賢明な創造主は地球を創造し、そこにわたしたちを置いてくださいました。……わたしたちが試しの生涯、つまり神が備えてくださったすべてのものを受け取るにふさわしい者であることを証明する機会を経験できるようにしてくださいました。」¹ わたしたちは選択の自由を使って神の戒めを守り、悔い改めるならば、神のもとに帰って神とともに暮らすにふさわしい者になります。

創造については、大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ管長が次のように言っています。

「わたしたちこそ神が宇宙を創造された理由……です。

……これは人に関する逆説です。神に比べれば人は取るに足りないものです。にもかかわらず、人は神にとってすべてなのです。」² 天の御父



にとってわたしたちがすべてだからこそイエス・キリストがわたしたちのために地球を創造してくださったということが分かります、天の御父と御子に対する愛はさらに深いものになります。

聖文から

ヨハネ1：3；ヘブル1：1－2；モーサヤ3：8；モーセ1：30－33，35－39；アブラハム3：24－25

注

1. トーマス・S・モンソン「人生というレース」『リアホナ』2012年5月号，91 参照
2. ディーター・F・ワークトドルフ「あなたは御父にとって大切な存在です」『リアホナ』2011年11月号，20
3. ジョセフ・スミスの言葉、『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』171で引用
4. 『わたしの王国の娘』171
5. ジョセフ・スミスの言葉、『わたしの王国の娘』169で引用

何ができるでしょうか？

1. 神の娘としての資質が自分にあることが理解できるよう努めると、救い主に対する愛が深まります。これはなぜでしょうか。

2. 神が万物を創造してくださったことに対する感謝の気持ちを表すために、わたしたちにはどんなことができるでしょうか。

信仰・家族・扶助



わたしたちの歴史から

わたしたちは神の形に創造され（モーセ2：26－27 参照）、神のようになる可能性を秘めています。預言者ジョセフ・スミスは、「特権にふさわしく生きる」ようにと扶助協会の姉妹たちに勧告しました。³ この勧告の下、末日聖徒イエス・キリスト教会の姉妹たちは、自分たちに対する神の目的を果たすことによって、神の娘として持っている可能性にふさわしく生きるよう教えられてきました。「実際に自分が何者であるかを、すなわち、自分が神の娘であり、愛し、養い育てる能力を生まれつき持っていることを理解するようになるにつれ、姉妹たちは聖なる女性として秘めている可能性を発揮することができます。」⁴

「皆さんは神が植え付けられた思いやりの精神に従って、行動できる状況に置かれているのです。もしこれらの原則に従って生活するなら、皆さんは日の栄えの王国においてどれほど偉大で栄光あふれる報いを受けることでしょう。もし与えられている特権にふさわしく生きるなら、天使は皆さんの友とならずにはいられないでしょう。」⁵

総大会のアイデア

ティナ・スペンサー



「夕食に来るのはだれ？」

いつも総大会が始まる15日前になると、我が家では「夕食に来るのはだれ？」と書いた看板をぶら下げます。謎解きの始まりを告げるしるしです。そして、教会機関誌の前回の大会号から、預言者、聖見者、啓示者の最新の写真を切り取ってはっておきます。

わたしは、その日の晩に我が家に迎える預言者について調べるといふ準備をします。分かったことを象徴するようなものを家の周辺で見つけ、それを皿に載せておくこともあります。夕食時には、皿に載せたものそれぞれについて話をしながら、その預言者はだれかを皆で当てます。または、前の総大会でその預言者が話したことを、わたしが一つか二つ話します。

愛する預言者や使徒のことを子供たちがよく覚えていることに、わたし

は驚かされます。それに、この簡単なゲームをすることによって、この偉大な人々に対する自分の愛と知識が深まったとわたしは感じています。

自分用の大会号

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老と奥様のキャシー姉妹がわたしたちのステーキ大会に来たとき、アンダーセン姉妹はある経験談を話してくれました。フランスに住んでいたときのこと、いちばん下の子も入れて子供たちみんなに総大会の話のコピーしてあげたそうです。そのコピー代が非常に高かったことに驚き、すぐこう考えました。「預言者の言葉を手もとに置くことは、自分にとっても家族にとっても、非常に価値があるということなのだわ。」

わたしはこの話に深く感動して、家

族全員にそれぞれ自分の大会号を持たせることにしました。娘たちは大喜びでした。わたしたちは家庭の夕べや聖文学習のときに大会号を使いました。娘が自分で話を読んで蛍光ペンで印を付けるのを見るのがわたしは大好きでした。最近バプテスマを受けた別の娘は、一緒に話を読んでわたしに頼んできました。

大会のチャレンジ

わたしは扶助協会でレッスンしたときに、前の大会の話をも復習するよう一人一人の姉妹にチャレンジしました。話をもう一度読んだ姉妹もいましたし、インターネットで見た姉妹もいました。これから始まる大会に臨む準備がよくなったと何人かの姉妹が言っていました。■

著者はアメリカ合衆国ワシントン州に住んでいます。

心身の健康

青少年の中には、体の健康を保つための原則に従っていないことがおもな原因となって、友達ができなかったり、自尊心を築けなかったりする人がいます。しかも、心身の健康は伝道に出る備えに不可欠であるにもかかわらず、あまり重要視されない傾向があります。今月号の52ページから53ページで、七十人のアドリアン・オチョア長老が、肉体を大切にすることによって心身の健康を守ることができると言っています。運動し、知恵の言葉を守るならば(教義と聖約89章参照)、わたしたちはもっと健康で幸せになることをオチョア長老は指摘しました。子供たちが心身の健康のための原則を学んで生かせるよう助けるならば、子供たちの自尊心は増し、将来の奉仕に備えることができるようになるでしょう。

オチョア長老はこう言っています。「肉体を管理することで、心も祝福され、自分が神の子供であることを思い起こしやすくなり、さらには自信を持ち、喜びを感じることができるようになります。情緒的、肉体的、霊的側面は、すべて関連し合っているのです。」

青少年に教えるための提案

- オチョア長老の記事と一緒に読み、具体的で実行可能な目標を

立てて、家族の運動計画を作成しましょう。

- 10代の子供たちと『若人の強さのために』の「心身の健康」の項(25-27ページ)と一緒に読んでください。情緒的に健康であるとはどういうことなのか話し合います。
- 「試しは多くも」(『賛美歌』122番)と一緒に歌い、復活の教えから、肉体の健康の大切さについてどんなことが分かるか話し合しましょう。
- この記事の「関連聖句」にある聖句を研究し、心身の健康についてこれらの聖句がどんなことを教えているか話し合しましょう。

子供に教えるための提案

- 子供に神殿の写真を見せます。わたしたちの体は「聖霊の宮」であるという使徒パウロの言葉は何を意味するのか(1コリント6:19)、このことを知っているとき心身を大切にするためにどう役立つか、話し合しましょう。
- 家族でできる健全なレクリエーション活動のうち子供が喜ぶものを書き出しましょう。次に、その活動を家庭生活にどう組み込めたらよいか計画を立てましょう。



関連聖句

箴言 16:32

ダニエル 1:3-20

ルカ 21:19

ローマ 12:1-2

1コリント 6:19-20

1テサロニケ 5:14

アルマ 38:12; 53:20

教義と聖約 88:15; 89章

- 怒りや悲しみなどの感情を理解しコントロールするにはどうしたらよいか話し合しましょう。「幸せなら手をたたこう」(『子供の歌集』126)、「イエス様のように」(『子供の歌集』40)など、喜怒哀楽や正しいことを選ぶことをテーマにした歌を歌いましょう。

教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

会員は神権の系譜の送付を依頼できるようになる

チャーチニュース
ライアン・モーゲネッグ

教会は、会員からの依頼があれば、神権の系譜に関する情報を提供できるようになった。神権の系譜は、神権の聖任の儀式がだれによって施されたかを教会初期、最終的には救い主までさかのぼって示したものである。

ある会員の系譜に七十人の職をもつ神権者がいるとしても、その七十人の職の系譜は存在しない。さらにビショップや祝福師の聖任に関する神権の系譜は、大祭司の聖任からたどることができる。

教会に送付を依頼できるのはメルキゼデク神権の系譜だけであり、アロン神権の系譜については依頼できない。会員は、自分自身と、同居している子供、また伝道中の若い宣教師のメルキゼデク神権の系譜の送付を依頼できる。これらの記録は、公式な教会の記録ではない。

自分の神権の系譜を依頼する際は、氏名、生年月日、会員記録番号（神殿推薦状に記載されている番号を参照するか、ワード書記に確認する）、

（もし分かれば）自分を長老あるいは大祭司の職に聖任した会員の氏名、返信先住所、電話番号あるいは E メールアドレスを明記する。

依頼先——

Priesthood Line of Authority

Global Service Center

120 North 200 West

Salt Lake City, Utah 84103-1514

ファックス —— 1-801-240-6816

電話 —— 1-800-453-3860、内線 2-3500

電子メール —— 件名欄に「PLA」と入力し、電子メールを lineofauthority@ldschurch.org へてにお送りください。それに対して入力用の書式が送付されますので、記入のうえ、返送してください（件名に「PLA」とある場合、どんなメッセージにも自動で返信されます）。（訳注 —— PLA は、Priesthood Line of Authority〔神権の系譜〕の意。）■



「神権を聖任するキリスト」ハリー・マンタイン画 © 2015

儀式を施す
神権者の
神権の系譜は、
救い主まで
たどることができる。



モンゴルでの教会設立 20 周年を祝う記念行事の出し物で、数字の「20」を形作っている扇子を手にした踊り手たち。

モンゴルで教会設立 20 周年を祝う

2013 年 4 月 15 日の月曜日に、300 人以上の教会員がモンゴル・ウランバートルにあるザイサン²の丘に集まり、モンゴルにおける教会設立 20 周年を祝った。50 人から成る聖歌隊が歌い、会衆は、ニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004 年）が 1993 年にモンゴルを福音を宣^のべる地として奉献した様子を録音した音声に耳を傾けた。

1993 年にマックスウェル長老に同行した元アジア地域会長会員のタイ・コック・イェン長老は、「主の御手が、御自身のぶどう園のこの場所に絶えず働きかけてこられた」ことを目にした。

記念日を祝うために、その週には様々な催しが行われた。宣教師の同窓会には 200 人の帰還宣教師が出席した。これまでに 1,000 人以上のモンゴル人が専任宣教師として奉仕しているが、それはモンゴルの会員 10 人中ほぼ 1 人の割合になる。金曜日の夜にはモンゴル国内の至る所でバプテスマ会が開かれ、24 人がバプテスマを受けた。中央若い女性会長会から最近解任されたメアリー・N・クック姉妹が若い女性のディポーショナルで話し、家族歴史オープンハウスでは新しいファミリーツリー

プロジェクトの指導用ビデオが放映された。文化の祭典ではモンゴルの豊かな文化と多くの教会員の才能が披露された。

ハイチの末日聖徒、記念日を祝い、植樹を手伝う

2013 年 5 月 1 日、ハイチの教会員は大規模な全国植樹プロジェクトに参加した。プロジェクトの初日には大量の苗木が植えられ、その後もさらに多くの苗木が植えられる予定だ。プロジェクトが完了すると、レモン、オレンジ、ココナツ、パパイヤ、榿の木などを含むおよそ 40 万本の木がハイチに生育することになる。

教会はハイチ地震復興への継続的な支援として苗木を購入した。プロジェクトの一環として、この島国における教会の 30 周年を祝うために、会員は奉仕プロジェクトに参加した。30 年前、当時十二使徒定員会会員であったトーマス・S・モンソン大管長がハイチを訪れ、回復された福音が宣べ伝えられるよう、その地を奉献した。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が祝賀行事に出席し、ハイチの教会初期を示す記念となる飾り額の除幕式を管理した。

教会、フィーディング・アメリカに 100 万ポンド（453.6 トン）分の食糧を寄贈する

2013 年 5 月、人道支援の力となっている末日聖徒慈善事業を通じて、教会は合衆国で最大級の非営利飢餓救援団体であるフィーディング・アメリカに 100 万ポンド（453.6 トン）以上の食料を寄贈した。寄贈物は、果物、野菜、豆類などの缶詰などで、合衆国内の様々な地域社会の食料貯蔵庫や避難所から困窮する家族に配給される。

フィーディング・アメリカ会長兼最高運営責任者のボブ・エイケン氏は、その寄贈がおよそ 62 万 5 千食分に相当すると述べている。

後ろに見える首都ポルトープランスを見下ろす山で、植樹しているハイチの宣教師と会員。



写真：シエン・スミス



十二使徒定員会
クエンティン・L・
クック長老



デビッド・O・マッケイ大管長（1873 – 1970年）は、スコットランドで伝道していたときに経験したある出来事についてよく話をしました。マッケイ長老は伝道地に着任して間もないころ、故郷を恋しく思い、スターリング城の近くを数時間観光していました。城を訪れて同僚と帰る道の途中で、マッケイ長老は、とある建物の前を通りました。建物の扉の上の石に、シェイクスピアの言葉と考えられる次の碑文が刻まれていました。「あなたが何者であろうとも、自らの務めを果たしなさい。」

マッケイ大管長はこの経験を振り返り、こう説明しています。「わたしが心の中で思ったのか、御霊^{みたま}がわたしにささやいたのでしょうか。『あなたは末日聖徒イエス・キリスト教会の

自らの務めを
十分に
果たしなさい

正しい生活をする。家族を築く。
家族を養うための適切な方法を見つける。
召しを忠実に果たす。神に会う用意をする。



クリスチャン・リーダーシップ・マガジン © 2013 by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints

会員です。それ以上に、主イエス・キリストを代表する者としてここにいます。あなたは教会の代表者としての責任を引き受けています。』それからその日の午前に自分が何をしていたか考えました。観光をしていました。確かにその土地の歴史を学んで感動しました。……でもそれは伝道活動ではありませんでした。……あの石に刻まれたメッセージは、わたしに向けられたものだったのです。その時から、わたしたちはスコットランドで宣教師としての務めを果たすよう努力しました。』¹

このメッセージがマッケイ大管長の心に強く響き、そこから大きな影響を受けたので、それ以来ずっとこの言葉を靈感として受け止めてきました。どのような責任にあっても最善を尽くすと決意したのです。

自分らしくない行動を取らない

教会の若い世代の皆さんに備わっている、善をもたらす計り知れない可能性を考えると、皆さんの将来に対してわたしはどのような懸念を抱いているのでしょうか。皆さんにどのような勧告を与えることができるのでしょうか。まず第1に、皆さんは、自分らしくない行動を取り、さらには仮面をかぶり、自分の真の姿や理想の姿とは程遠い人間になるように駆り立てる大きな力に直面するでしょう。

初期の教会の歴史によると、預言者ジョセフ、エマ、そして11か月になる双子のジョセフとジュリアは、オハイオ州ハイラムにあるジョン・ジョンソン夫妻の家に住んでいました。ある時、双子がそろってはしかにかかり、預言者ジョセフと幼い息子は玄関に近い脚輪付きのベッドに寝ていました。

その夜、顔を黒く塗った男たちが家に押し入って来て、預言者を外に引きずり出し、そこで彼を殴ったり、彼とシドニー・リグドンにタールをかけたりしました。

この襲撃が引き起こした最大の悲劇は、預言者ジョセフが引きずり出されたときに夜風にさらされた幼いジョセフが風邪をこじらせてしまったことです。その結果、幼いジョセフは数日後に亡くなりました。²

預言者ジョセフと兄ハイラムの殉教にかかわった人たちも、正体を隠すために顔を塗っていました。³

匿名で行動することがかつてないほど容易になった現代において、仮面をかぶることなく、「……殉教者の持つ真理を信じ〔る〕」ことには重要な原則が含まれています。⁴



L・トム・ペリー長老は日本に駐留中、十分に自分の務めを果たしました。

誤った選択をしないための最も効果的な防衛の一つは、匿名という仮面を一切かぶらないことです。もしそのようなことをしたいと思っている自分に気づいたら、どうかこのことを心に留めてください。それは重大な危険信号であり、すべきでないことをさせようとする敵対者の道具の一つなのです。

今日、インターネット上で、憎しみに満ち、辛辣で、独りよがりのメッセージを書くときに、自分の正体を明らかにしないのはめずらしいことではありません。そのような行為は**フレーミング**と呼ばれることがあります。

使徒パウロはこう記しています。

「まちがってはいけない。『悪い交わりは、良いならわしをそこなう。』

目ざめて身を正し、罪を犯さないようにしなさい。あなた

がたのうちには、神について無知な人々がいる。』(1コリント 15:33-34)

明らかに、悪い交わりとは、悪いならわしだけを言うものではありません。末日聖徒である人がそれを行った場合、神に関する知識や救い主についての証^{あかし}がない人に悪い影響を与える恐れがあります。

いかなる形であれ、インターネットを使っていじめたり、評判を下げたり、人を不利な状況に追い込んだりするべきではありません。人々は匿名という仮面をかぶると、理解を深めるための対話を著しく妨げるこの種の行動に走りやすくなりますが、これが今の社会の現状です。これは救い主が教えられた基本的原則に反することでもあるのです。

救い主は、世を裁くためではなく世を救うために来たのであると説明されました。それから、裁きとは何かを語られました。

「そのさばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はそのおこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したことである。

悪を行っている者はみな光を憎む。そして、そのおこないが明るみに出されるのを恐れて、光にこようとはしない。

しかし、真理を行っている者は光に来る。その人のおこないの、神にあってなされたということが、明らかにされるためである。」(ヨハネ 3:19-21; 17-18も参照)

義にかなった人々は、仮面をかぶり、本来の自分を隠す必要はありません。

心から信じていることに従って行動する

善い人格を築き、^{はぐく}育み、さらにキリストのような人になるために時間を使うならば、わたしたちは自分たちが真に信じることに調和した行いを行うことができます。皆さんの中に、人生は基本的に遊びの時間であると考えている人がいないことを望んでいます。むしろ人生は「神にお会いする用意をする」(アルマ 34:32) 時期なのです。

自分の務めを果たし、時間を正しく使うことのすばらしい模範を十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老の経験から学ぶことができます。ペリー長老は第二次世界大戦後、進駐軍の米海兵隊員として日本に駐留していました。ペリー長老はそのときの話を救い主についての特別な証として記録しています。

「わたしは平和条約が調印されて第二次世界大戦が終結



誤った選択をしないための
最も効果的な防御の一つは、
匿名という仮面を一切かぶらない
ということです。

した直後に、最初に日本に上陸した米軍の海兵隊員の一人でした。荒れ果てた長崎の町に入ったときのことは、人生で最も悲しい経験の一つとなっています。町の大部分は完全に破壊されていました。放置されたままの遺体もありました。進駐軍として、わたしたちは本部を設置して任務を開始しました。

その荒涼とした状況に、わたしたち数名は、任務以外にも何かしたいと思いました。そこで自分たちの部隊の従軍牧師のところに行き、キリスト教の教会の再建を支援する許可を求めました。政府による戦時下での規制のため、これらの教会はほとんど機能していませんでした。数少ない教会の建物はひどく損壊していました。わたしたちは休日にこれらの教会堂を修理してしっくいを塗り、キリスト教の礼拝行事を再開できるようにしました。

……わたしたちは戦時中に礼拝行事ができなかった牧師たちを尋ね当て、説教壇に戻るよう励ましました。彼らが再びキリスト教の信仰を实践する自由を体験したとき、わたしたちは彼らとともにすばらしい経験をしました。

忘れることのない出来事が起きたのは、わたしたちが長崎を出発して国へ帰ろうとしていたときでした。祖国へ帰る船に向かって列車に乗ろうとしていたとき、わたしたちはほかの大勢の海兵隊員たちからかわれました。彼らはガールフレンドたちと別れの言葉を交わしていました。そして彼らは、日本での楽しみを逃したと言ってわたしたちのことを笑いました。労働したり壁にしっくいを塗ったりしたのは、まったく時間の浪費だったと言うのです。

彼らがわたしたちをからかっていた最中のことです。駅の近くの小さな丘の向こうから、わたしたちが修理した教会の偉大な日本人クリスチャン約200人が、『戦い進め』を歌いながらやって来たのです。彼らは下りて来てたくさんのプレゼントを渡してくれました。そして彼らは線路に沿って並び、わたしたちは動き出した列車から手を伸ばして彼らの指に触れながら去ったのです。お互いに胸が詰まって話すことができませんでした。しかし、戦争が終わった国で、わずかではあってもキリスト教の再建を手助けできて、わたしたちはうれしく思いました。』⁵

時間の使い方について前もってよく考えましょう。ペリー長老の模範から分かるように、わたしは自分の宗教を誇示するとか、うわべだけの忠実さについて話しているのではありません。そのようなことは皆さんと教会にとって恥ずべき

ことです。わたしが話しているのは、どのような人物であるべきかということです。

適切な目標を設定する

3つ目の勧告は、皆さんが考えるべき目標についてです。第二次世界大戦後にベリー長老が海兵隊員として日本に駐留していたのと同じころ、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は空軍兵として日本に駐留していました。

2004年、わたしはパッカー会長をはじめとする人々に



ボイド・K・パッカー会長は、
義にかなった目標を設定することにより
祝福を受けてきました。

同行して日本を訪問しました。パッカー会長にとって、当時の足跡をたどり、そのときの経験や決意に思いをはせる機会となりました。パッカー会長の承諾を得ていますので、パッカー会長の考えや思いについて分かち合いたいと思います。

パッカー会長は、沖縄沖合のある島で起こった出来事について話しました。パッカー会長にとってそこは荒野の山のようなものでした。パッカー会長は、自分自身の備えと、会員との交わりにより、福音の教えに対する深い信仰を抱いていましたが、真実であるとすでに感じていることに対する確かな知識、すなわち確信がまだありませんでした。

パッカー会長の伝記作家がそのときの出来事についてこのように記しています。「確信からもたらされる平安を求めていたのとは裏腹に、パッカー会長は罪のない人々に対する

戦争の惨状を目の当たりにしました。ある日、一人になって考えるために、パッカー会長は海を見下ろす高台に登って行きました。そこには、廃墟となった農家の小屋の残骸があり、近くのサツマイモ畑は放置されたままになっていました。枯れかけの植物の中に、惨殺された母親と二人の子供の遺体が横たわっていました。この光景を見たパッカー会長の心は、深い悲しみと、自分の家族とすべての家族に対する愛が入り混じった感情でいっぱいになりました。』⁶

それからパッカー会長はにわか作りの壕の中に入って、心を集中し、深く考え、祈りました。パッカー会長はこの出来事を振り返って説明していますが、わたしはその経験を「確証をもたらす霊的な経験」と呼んでいます。パッカー会長は人生で何を成すべきかについて靈感を受けました。その当時はもちろん将来どのような召しを受けるかなど知る由もありませんでしたが、パッカー会長は救い主の教えを熱心に伝える教師になるという将来像を心に描きました。そして、義にかなった生活を送ることを決意したのです。

パッカー会長は、義にかなう妻を探さなければならないこと、そしてその妻とともに大きな家族を築くことを心に深く決意しました。この若い兵士は、そのような職業を選ぶことによって質素な生活を送ることになり、また伴侶は優先順位に関して同じ価値観を共有し、物質的に恵まれなくても喜びをもって生活する人でなければならないことを確認したのです。ドナ・パッカー姉妹は、昔も、そして今もパッカー長老にとって完璧な伴侶です。お金に十分な余裕があったことなどありませんでしたが、恵まれていないと感じたことは一度もありませんでした。二人は犠牲を払いながら10人の子供を育てました。今では60人の孫と80人以上のひ孫がいます。

わたしがこの実話をお話するのは、わたしたちはこの世の価値観に基づいて目標を決めることがあまりにも多いためです。救いの儀式を受けた会員にとって基本となる事項は極めて単純明快です。正しい生活をする。家族を築く。家族を養うための適切な方法を見つける。召しを忠実に果たす。神に会う用意をするということです。

救い主は次のように教えられました。「人のいのちは、持ち物にはよらないのである。」(ルカ12:15)

自分の国と地域を築く

皆さんの世代に求められているのは、個人としての優れた特質、素養、決断に加え、自分が住んでいる国や地域を築く



ユダヤ教とキリスト教に共通の受け継ぎは、わたしたちにとって貴重な財産であるだけでなく、天の御父の計画においても不可欠なものです。それは将来の世代のために守らなければならないものです。

ことです。皆さんの世代は義と宗教の自由を守る必要があります。わたしたちが受け継いでいるユダヤ教とキリスト教に共通の受け継ぎは貴重な財産であるだけでなく、天の御父の計画においても不可欠なものです。それは将来の世代のために守らなければならないものです。わたしたちはあらゆる信仰を持つ善良な人々、特に自分の行いについて神に報告できると感じている人々と協力する必要があります。そのような人たちは、「あなたが何者であろうとも、自らの務めを果たしなさい」という勧告を理解している人たちです。ユダヤ教とキリスト教に共通する価値観と宗教的自由を守ることにより、皆さんの世代は本来なるべき偉大な世代となるでしょう。

大管長会と十二使徒定員会は今日の世の中に内在する困難を鑑み、皆さんがそれぞれの国で政治プロセスに適切に参加することについて特に関心を持っています。教会は、政治的論争に関して中立の立場を取っているため、特定の候補者や政党を支持することはありません。しかし会員の皆さんが、善良な政府を維持するために必要な原則に基づいて候補者や政党を選ぶように強く望んでいます。教会の教義は明確です。すなわち、善良で「正直な人々と賢明な人々を熱心に捜し求めなければならない」（教義と聖約 98：10）のです。

わたしたちは皆さんを大いに信頼しています。教会の中央幹部は、皆さんがこれまでのいかなる世代とも異なる方法で王国を築くことができると心から信じています。わたしたちの愛と信頼だけでなく、祈りと祝福は皆さんのものです。皆さんの世代の成功なくしてとどまることのない教会の確立、そして王国の成長は考えられません。わたしたちは皆さんが仮面をかぶることなく、自分が本来あるべき姿と調和した行いをし、適切な目標を定め、自分の国と地域を築き、自らの務めを十分に果たすよう祈っています。■

2012年3月4日にブリガム・ヤング大学アイダホ校で行われたヤングアダルトのための教会教育システムディボーションから抜粋。全文（英語）を読むには、lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2012/01?lang=eng（英語）にアクセスしてください。

注

1. デビッド・O・マッケイ。フランシス・M・ギボンズ、*David O. McKay: Apostle to the World, Prophet of God* (1986年) 45から引用
2. マーク・L・ステーカー、"Remembering Hiram, Ohio," *Ensign*, 2002年10月号, 32, 35参照
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』24参照
4. 『シオンの若者、真理を守り』『賛美歌』163番
5. L・トム・ベリー「喜びは(自分も他の人も) 救い主に従うことによりもたらされる」(<http://www.lds.org/prophets-and-apostles/what-are-prophets-testimonies?lang=jpn>) から引用
6. ルシール・C・テート、*Boyd K. Packer: A Watchman on the Tower*, (1995年) 58 - 59

10代の 若者と 神殿の聖約

ゲリー・カーター、
スーザン・カーター夫妻

わ たしたちは神殿奉仕者として、神殿に参入して自身のエンゲウメントを受けるヤングアダルトの皆さんに会う機会に恵まれてきました。神殿準備セミナーは彼らの役に立っていますが、神殿の聖約を交わす備えをするうえで、義にかなった両親や指導者の影響がさらに大きな役割を果たしていることが分かりました。両親や指導者であるわたしたちは、数か月の間、専任宣教師になる準備を助けるだけでなく、神殿の聖約を交わし永遠にわたってそれを守ることができるように助ける必要があります。その第一歩は子供のときに始まります。

子供を備える

両親は、神殿で礼拝し、神殿の業について証あかしを述べることにより、子供に神殿の大切さを教えることができます。頻繁に神殿に参入することができない地域でも、両親は神殿に参入したいという望みを子供に植え付けることができます。

ハワード・W・ハンター大管長（1907 - 1995年）は両親に向けてこう教えています。「神殿で受ける霊的な思いを子供たちに伝えましょう。主の宮居の目的について神殿外で話せる事柄については、もっと積極的にもっとゆとりをもって子供たちに教えていきましょう。」¹ 子供たちは、神殿は祈りの答えを受け、神の愛を感じる場所であることを知る必要があります。

専任宣教師として奉仕できる年齢の
引き下げに伴い、
現在何万もの10代の若者が
神聖な神殿の聖約を交わしています。

両親の皆さんはさらに、子供たちが12歳になったら受ける資格のある限定推薦状を待ち望み、それにふさわしい生活をするよう教えるとよいでしょう。やがてこの青少年たちが神殿に参入する時が来ると、彼らは喜びと誇りをもってその推薦状を神殿に提示するでしょう。

青少年を備える

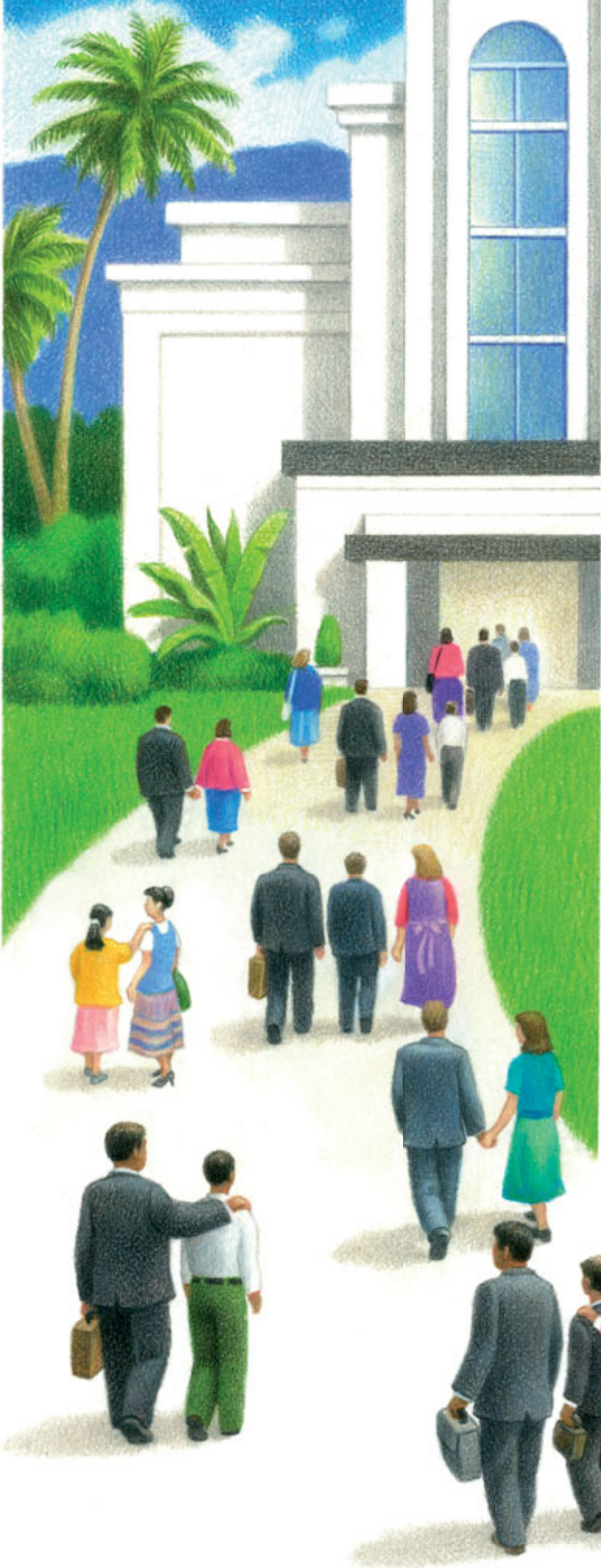
両親の皆さんは、子供たちが家族歴史の探求に携わるよう助け、12歳になったら自分の先祖の名前を神殿に持って行けるようにするとよいでしょう。そのような青少年に向けて、十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は次のように約束しています。

「先祖に対する愛と感謝が増すでしょう。救い主についての証と従いたいという気持ちが強くなり、不動のものとなるでしょう。わたしは約束します。皆さんはますます強まるサタンの影響力から守られるでしょう。」²

わたしたちはこの約束が果たされるのを幾度となく目にしてきました。最近ある若い女性が祖母の名前を調べて神殿に参入して儀式を受けたとき、祖母が次の世で彼女を迎えてくれるというはっきりとした印象を受けたと話してくれました。このような経験は証を強め、神殿でさらに儀式を受けたいという望みを植え付けるのです。

多くの青少年は、慎みを欠いた服装をする誘惑に遭います。両親や指導者が魅力的で慎み深い衣服を身に着けるなら、青少年は自分も同じようにできることに気づくでしょう。青少年は、身だしなみや体の扱い方によって自分が主の弟子





であると表現できることを理解する必要があります。

両親は、神殿で交わす聖約を理解できるように助けることにより、青少年が神殿に参入する備えを手助けすることができます。神殿で交わす聖約には、「貞操と純潔の律法を厳格に守り、慈愛、慈善、寛容、純真の諸徳を持ち、真理の伸展と人々の高揚のために自分の持てる才能と財産をささげ、真理のために献身し、この地上が地上の王である主イエス・キリストを迎えるために、あらゆる方面から大いなる備えをする努力を惜しまない」³という約束が含まれています。両親は、青少年がこれらの聖約を守るなら、生涯にわたり力強い祝福を個人的に受けることを青少年に証するとよいでしょう。また、イエス・キリストの贖いを通して祝福と聖約がもたらされたことを青少年が理解できるよう両親が助けるなら、これらの聖約は青少年にとってさらに大きな意味を持つようになるでしょう。

子供や青少年が神殿の祝福を受ける備えをするのを助ける方法は幾つもあります。彼らが備えれば備えるほど、さらに平安と御霊を感じ、自身のエンダウメントを受けるときにすばらしい霊的な経験をする事ができるでしょう。神殿での経験を通して高められ、さらに忠実なキリストの弟子となり、より良い宣教師となるでしょう。自分が教える人々が自身の神聖な神殿の儀式を受ける備えができるように助けようという純粋な動機を持った宣教師となるのです。■

注

1. ハワード・W・ハンター「神の御子に従う」『聖徒の道』1995年1月号、97
2. デビッド・A・ベドナー「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号、26-27
3. ジェームズ・E・タルメージ、『聖なる神殿に参入する備え』34-35で引用

偉大な 伝道の 受け継ぎ

今も昔も、宣教師は皆、人の人生を
すばらしいものにするために働いています。

教会機関誌

ラリーン・ポーター・ガント、
リンダ・デッカー・ロペス

今 日の宣教師は、主を知る知識で地を満たす
(イザヤ 11:9 参照) という、これまで続
いてきた偉大な業を推し進めています。
アブラハムからパウロ、アンモン、ウィルフォード・
ウッドラフに至るまで、聖典や教会歴史に登場する
宣教師たちは、現代の宣教師にとって偉大な模範と
なっています。

会員宣教師であろうと、専任宣教師として伝道に
出る準備をしようとして、伝道部で奉仕している最中
であろうと、伝道を終えて帰還するところであろうと、
わたしたちは聖典や教会歴史に登場するこれらの宣
教師の模範から勇気と靈感を得ることができます。

聖書と高価な真珠に見られる伝道の受け継ぎ

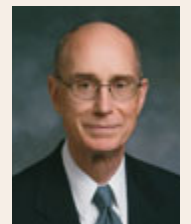
旧約聖書に登場する宣教師は、ヨナのように、人々に警告する
ために召されました(エゼキエル 3:17-19 参照)。ヨナの模範
からは、悔い改めと従順の大切さが分かります。アブラハムの話
は、メルキゼデク神権の系統と力について教えてくれます。

新約聖書に登場する宣教師は、ペテロやパウロのように、イエス・
キリストの教えを守るために働きました。しかし時がたつと、世の
人々は背教していきました。神は預言者ジョセフ・スミスによって
福音を回復なさったのです。聖典に出てくる宣教師と同様、わた
したちは今、イエス・キリストの教えを守り、人に伝えるために働いて
います。



©2002 DANIEL A. LEWIS

「ニネベの海岸にいるヨナ」 ダニエル・A・ルイス画。ヨナは悔い改め、行って伝道しました。
そして、エホバは全地を治めておられ、その愛は一つの国や一つの国民に限定されないと説い
たのです(ヨナ1-4章参照)。



警告の声

「主は憐れみ深い御方なので、
民に危険を警告するよう僕に命じ
られます。……ヨナについて考え
てみましょう。彼は最初、罪のせいで危険が見えない
ニネベの民に警告するという主の召しから逃れようと
しました。昔から邪悪な民は預言者を拒み、時には殺
してきたことを知っていたからです。それでも、ヨナ
は信仰をもって前進し、主は安全と成功をもって彼を
祝福されました。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
「警告の声を上げましょう」『リアホナ』2009年1月号, 3



「エルサレムの役人たちの前に立つ
ペテロとヨハネ」 サイモン・ベッ
ダー画。ペテロとヨハネは議会に
引き出され、大祭司からこう聞かれ
ました。「『あの名を使って教えて
はならないと、きびしく命じておい
たではないか。それなのに、なん
という事だ、エルサレム中にあなた
がたの教を、はんらんさせている。
……』 これに対して、ペテロ……
は言った、『人間に従うよりは、神に
従うべきである。』」(使徒 5 : 28
- 29)

「使徒パウロ」 カレル・スケレータ画。パウロは小
アジア全土ならびに当時知られていた世界のほと
んど全域に足を運び、手紙を送って、救い主を力
強く証しました。



「アブラム〔アブラハム〕を祝福する
メルキゼデク」 ウォルター・レー
ン画。メルキゼデクはアブラムを
祝福し(創世 14 : 18 - 20 参照)、
神権も授けました(教義と聖約
84 : 14 参照)。また別のときに主
はアブラムに現れて、こう言われま
した。「わたしは……異国の地に
おいて、あなたをわたしの名を負う
仕え人にする」と定めた……。
……あなたはあなたの後の子孫に
とって祝福の基となり、彼らはすべ
ての国民にこの務めと神権を携え
て行くであろう。」(アブラハム 2 :
6, 9)



不信者を教える

「モーサヤの息子たちは……レーマン人の中に入って行きました。教えた民には霊的な成長につながらないような習慣がしみついていただけにもかかわらず、この忠実な宣教師たちは、レーマン人という民の心に大きな変化をもたらしました。わたしたちが知っているように……『彼らの説教を信じて主に帰依したレーマン人は皆、二度と道を踏み外さなかった』のです(アルマ 23:6)。」

七十人 ジェームズ・B・マルティノ長老
 “Repentance That Brings Conversion,”
 Ensign, 2012年9月号, 58

© GARY L. KAPP, 翻作は雑誌「エンサイン」

「ラモーナイ王の前に立つアンモン」 ゲーリー・L・カッパ画。モーサヤの息子の一人であるアンモンは、ラモーナイ王の家畜の群れを救いました。アンモンは、神から遣わされたのかと王に聞かれて、自分は人間であり、「この〔ラモーナイの〕民に〔福音〕を教えて、正しい真実のことを知らせるために、……聖なる御霊によって召されて」と答えました(アルマ 18:34)。

モルモン書に見られる伝道の受け継ぎ

アルマやアミュレク、モーサヤの息子たち、レーマン人サムエルは、モルモン書に登場する偉大な宣教師の模範のほんの一部にすぎません。彼らの行いは、悔い改め、信仰、従順な態度、勇気の模範です。わたしたちも彼らのように、神からの靈感と啓示に頼って、伝道活動を導いていただくことができます。

「わたしの心に喜びのおとずれを届けてくれた」ウォルター・レーン画。救い主が来られるという「喜びのおとずれ」を携えて、天使がレーマン人サムエルのもとを訪れました(ヒラマン 13:6-7)。サムエルはニーファイ人に福音を伝える召しを受け、ゼラヘムラの町の城壁に登ってこの喜びのおとずれを民に伝えたのです。



教義と聖約に見られる伝道の受け継ぎ

福音が回復されてからというもの、宣教師は非常に重要な存在になりました。ダン・ジョーンズやオーソン・ハイド、パーリー・P・プラットなどの宣教師は、モルモン書を配付し、イエス・キリストの福音を伝えました。預言者ジョセフの弟サミュエルのように、住まいの近辺で伝道活動をした人もいれば、タイやサンドイッチ諸島（ハワイ）、デンマーク、イングランドといった遠隔地に行って福音を宣べ伝えた人も

いました。

こうした初期の宣教師たちはたいい伝道の期間が長く、しかも何度も伝道に出ました。わたしたちが行っているように、親や愛する人々、妻子、孫を置いて出かけたのです。彼らは今日のわたしたちにとって信仰と勇気、従順、忍耐、勤勉の模範となっています。



「モルモンの説教者たち」
アーノルド・フライバーグ画。
クリステン・ダルスガードの
原画を基に描く。初期の末
日聖徒の宣教師がオランダ
の地方の家で集まった家族
にイエス・キリストの福音
を教えている場面です。
19世紀の伝道活動では
よく見られる光景でした。
宣教師はまた、街角や町の
集会所でも教えました。



「ベンボー農場でバプテスマの準備をするウィル
フォード・ウッドラフ」 リチャード・A・ムレー画。
1840年代に主は、イングランド、ヘレフォードシャー
のジョン・ベンボーの農場にウィルフォード・ウッド
ラフをお導きになりました。「そこにいた人々は、古
代に存在していた秩序の回復を祈り求めていたので
ある」とウィルフォードは書いています。「結局、わた
しはそこに着いてから約1か月間で600人にバプテ
スマを施した。……この土地で働いた8か月間に、
通算1,800人を教会に導くことができた。なぜこの
ようなことが起きたのであろうか。それは、福音を受
け入れる備えのできた人々がいたためである。」
("Discourse," Deseret Weekly, 1896年11月7日
付, 643)

サンドイッチ諸島（ハワイ）に新たに到着した宣教師たちは、1851年にすでに原住民にバプテスマを施しています。この写真はそれよりもかなり後に撮影されたものです。



複写は禁じられています

伝道の受け継ぎの上に築く

2012年10月の総大会でトーマス・S・モンソン大管長が若い男女の伝道に出られる年齢を下げる発表をしてからというもの、何万人もの末日聖徒が群れを成して伝道に出ています。

2013年4月の総大会で十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が自分の伝道活動の証を付け加え、福音を聞く備えのできている人を見つける努力をすることによって、この奇跡が行われるときの重要な当事者になるようわたしたち一人一人に呼びかけました。「主はさらに多くの宣教師が

奉仕するように靈感を下されました。同様に主は確かに、主の宣教師を受け入れるように、さらに多くの善良で正直な人々の意識を目覚めさせ、心を開かせておられます。皆さんはそのような人をすでに知っているか、または知ることでしょう。その人は皆さんの家族の中におり、また近隣に住んでいます。通りで皆さんのそばを通り過ぎ、学校で近くに座っており、インターネットで皆さんと接しています。」（『これは奇跡です』『リアホナ』2013年5月号、78）■

『道で福音を伝える』ケン・スペンサー画。この二人の宣教師は、アメリカ合衆国ニュージャージー州ニューブランズウィックの書店の前で福音を伝えています。



聖徒伝道部宣教師の証言にちなんで複製された絵画



宣教師の名札

「上着に宣教師の名札を付ける専任宣教師でない場合、パウロが『墨によらず生ける神の霊によって書かれ』と述べたように、今こそ皆さんの心にそれを描く時です。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老
「これは奇跡です』『リアホナ』2013年5月号、78



教会歴史博物館の歴史にふりかへる挿絵

「レーマン人はばらのように花咲くであらう」 ホセリート・ヘス・アセバド・ガルシア画。この絵は、スペイン語圏の人々の中にあふれる伝道の精神をとらえて表現しています。人々が日々の仕事にいそむ中で、二人の宣教師が福音を教える準備をしています。小さな家々とこの土地に住む動物の中にそびえるペルー・リマ神殿は、教会の発展を象徴しています。



「いつでもどこでも」 ジュエイリン・チェン画。どこに住んでいる会員宣教師もそうですが、台湾の教会員は、福音の喜びと聖文を人に伝えようと努めています。テーブルの上にあるのは聖典で、巻き物に入った縦長の青い容器に描かれているのは台湾台北神殿です。



教会歴史博物館の歴史にふりかへる挿絵

「シエラレオネの末日聖徒の宣教師」 エミール・ウィルソン画。シエラレオネ初の伝道部は、2007年7月1日、フリータウンに組織されました。このフリータウンは2012年12月2日、教会で3,000番目のステークとなりました。



七十人
エドアルド・ガバレット長老

戦いの日に備える

万軍の主である救い主に信頼を置いて備え、
戦場でつまづくことがありませんように。

14 85年、リチャード3世はイングランドの王座に就いていました。政情の不安定な時期で、リチャード王は、王座を守るために一度ならず戦わなければなりませんでしたが。しかし、王は戦いの経験を積んだ軍人であり、8,000人から1万人の軍隊を持つ勇猛で抜け目のない戦士でした。

同じ年、イングランドの王位をねらうリッチモンド伯ヘンリー・チューダーがリチャード王に戦いを挑み、ボズワース・フィールドで戦います。「ボズワース・フィールドの戦い」と呼ばれる戦いです。ヘンリーはリチャードと違って戦いの経験がほとんどなく、兵力も5,000人しかありませんでした。ただし傍らに良き助言者たちがいました。身分が高く、リチャードとの戦いを含む同様な戦いに出たことのある人たちでした。戦いの朝が来ると、何もかもがリチャード王の勝利を予告しているかのようでした。

1485年8月22日の出来事は、よく知られている衝撃的な言い伝えに要約されています。その日の朝、リチャード王は従者とともにヘンリーの軍隊と戦う準備をしていました。この戦いの勝者がイングランド王になるのです。戦いがまさに始まろうというとき、リチャードは愛馬の用意ができていないかどうか、僕しもべを送って確認させました。







「蹄鉄を早く付けろ」と僕は蹄鉄工に命じました。「王はこの馬を駆って軍の先頭を行かれるのだぞ。」

蹄鉄工は待ってくださいと答えました。「この数日間、わたしは王の軍のすべての馬に蹄鉄を付けてきました。ですから、もっと鉄を持って来ないといけません。」

気の短い僕は、待てないと言いました。「王の敵は今にも攻めて来る。我々は戦場で敵を迎え撃たねばならないのだぞ。あるもので間に合わせろ。」

蹄鉄工は命じられたとおり、最善を尽くして鉄の棒から4個の蹄鉄を作りました。蹄鉄をハンマーでたたいて作ると、3つまで馬に取り付けました。ところが、4つ目を馬に取り付けようとしたとき、打ちつける釘が足りないことに気づき、僕に言いました。

「あと1、2本釘が必要です。ハンマーで打って作るには、少しお時間を頂かないと。」

しかし、僕はもう待てないと言います。「もうラッパが鳴っている。とにかくあるものでどうにかできないのか。」

最善は尽くしますが4番目の蹄鉄が外れないという保証はできません、と蹄鉄工は言いました。

僕は命じました。「とにかく釘で留めろ。そして逃げ。さも

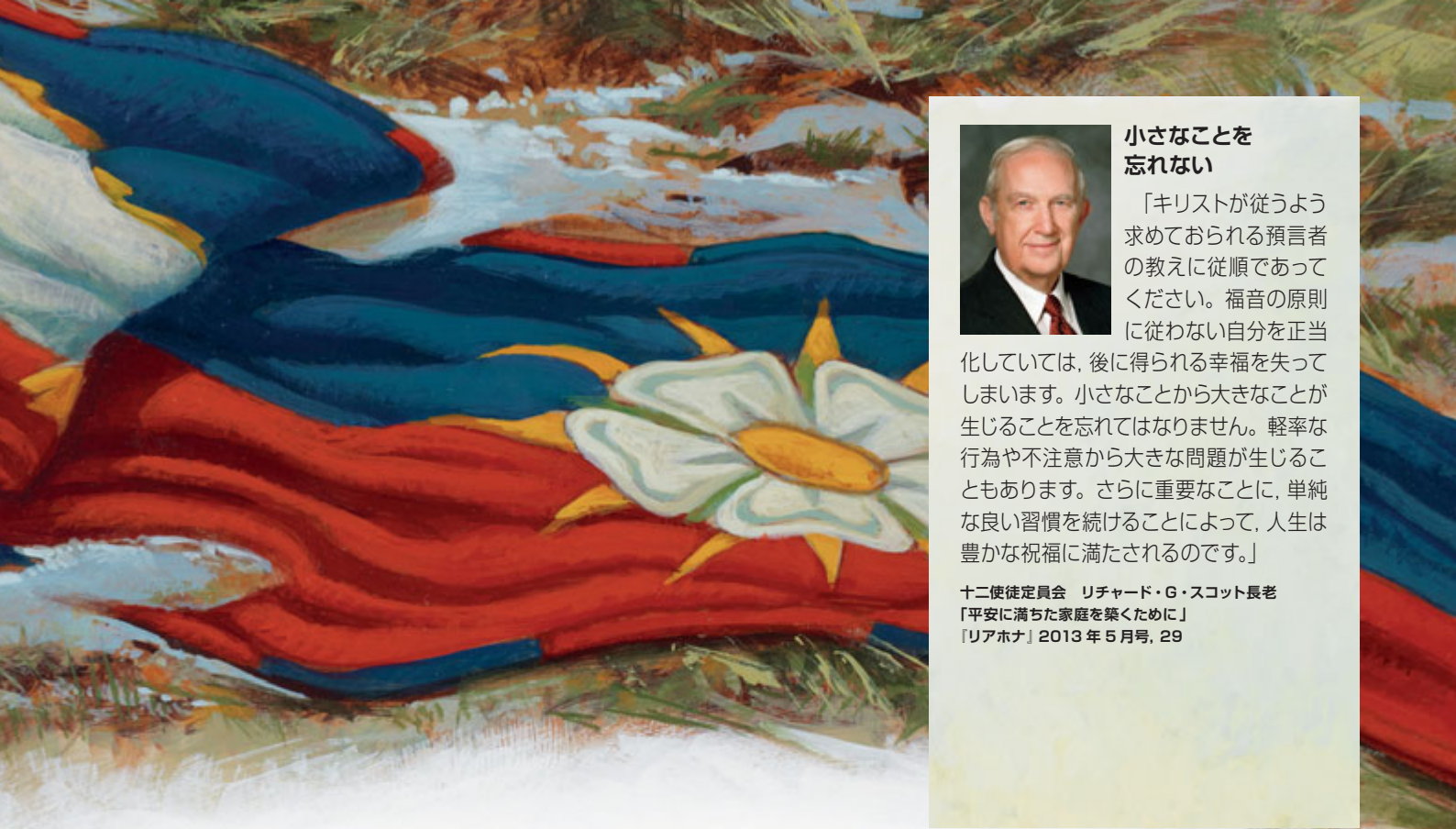
ないと、おまえもわたしもリチャード王のお怒りを買うことになるぞ。」

間もなく戦いが始まりました。兵士を奮い立たせるために、リチャード王は戦場を駆け巡って戦い、「進め、進むんだ」と叫んで兵を戦に駆り立てました。

しかし、リチャード王が戦場を見回すと、自分の軍から何人かが敗走するのが目に入りました。ほかの兵士も敗走を始めるのではないかと恐れ、王は奮起させるために敗走兵の出ている戦線目がけて馬を駆りました。ところが、たどり着く前に王の馬がつかずいて転び、王は地面に投げ出されてしまったのです。王が必死で馬を走らせるうちに、蹄鉄工が恐れていたとおり、蹄鉄の一つが外れて飛んでしまったのでした。

リチャード王は地面から飛び起きましたが、愛馬は全速力で走り去ってしまいました。ヘンリーの軍が突進して来るのを見て、リチャード王は剣を宙に高々と上げて叫びました。「馬を、馬をよこせ。代わりに我が王国をくれてやる。」

しかし、手遅れでした。そのころにはヘンリーの軍が向かって来ていたので、リチャード王の兵士は震え上がって逃げて行ってしまいました。こうして王は戦いに敗れます。以来、人々は次の詩を口ずさむようになりました。



小さなことを 忘れない

「キリストが従うよう求めておられる預言者の教えに従順であってください。福音の原則に従わない自分を正当化しては、後に得られる幸福を失ってしまいます。小さなことから大きなことが生じることを忘れてはなりません。軽率な行いや不注意から大きな問題が生じることもあります。さらに重要なことに、単純な良い習慣を続けることによって、人生は豊かな祝福に満たされるのです。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老
「平安に満ちた家庭を築くために」
『リアホナ』2013年5月号, 29

釘がなくなり、蹄鉄はなくなった。
蹄鉄がなくなり、馬はいなくなった。
馬がいなくなり、戦いに敗れた。
戦いに敗れ、王国を失った。
すべて、馬蹄を留める釘が1本なかったために。¹

原則に忠実に

この物語を思うと、たかが1本の釘といえども、それがきちんと留められていなかったために、このように歴史が大きく変わってしまったのかと、考えさせられます。足りなかった釘は、福音の原則にたとえることができます。悪や誘惑が渦巻く戦場にあっては、福音の原則とそれに関連する大切な事柄や行いをおろそかにすると、なすすべがなくなってしまうことがあるのです。

日々の生活や家族の中で、わたしたちにはどんな行いが欠けているのでしょうか。個人と家族の祈りをおろそかにしてはいませんか。熱心に聖文を研究していますか。定期的に家庭の夕べを開いていますか。什分の一は完全に納めていますか。兄弟姉妹に対する奉仕はどうでしょうか。安息日を守っていますか。神殿での礼拝はどうですか。隣人に対する愛はどうでしょうか。

わたしたちは皆、自分を省みて、欠けているものを探すべきです。日々の生活や家族の中でもっときちんと実行する必要があるのは、どんな原則や行いでしょうか。次に、欠けている原則や行いが分かったら、熱意をもって、断固とした

態度でそれを生活の中でさらによく実践し、正しいことを擁護するための備えが自分と家族にもっとよくできるよう釘をしっかりと打ってください。

教義と聖約の中で、主は次のように勧告しておられます。「救いのかぶとをかぶり、わたしがあなたがたに注ぐわたしの御霊の剣を取り、わたしがあなたがたに明らかにするわたしの言葉を保ちなさい。また、……わたしが来るまで忠実でありなさい。」(27:18)

御自分に忠実に従う者たちに、救い主はこう約束しておられます。「彼らの腕はわたしの腕となる。わたしは彼らの盾となり、彼らの小盾となろう。わたしは彼らの腰に帯を締めよう。そして、彼らはわたしのために勇敢に戦うであろう。彼らの敵は彼らの足に踏まれるであろう。また、わたしは彼らのために剣を下し、わたしの憤りの火によって彼らを守ろう。」(教義と聖約 35:14)

たとえ「戦いの日のために馬を備え」でも、「勝利は主による」という箴言にある言葉を忘れることがありませんように(21:31)。「キリストのもとに来て、キリストによって完全になりなさい」というモロナイの呼びかけにわたしたちが従えますように(モロナイ 10:32)。そして万軍の主である救い主に信頼を置いて備え、悪との戦いの場でつまづくことがありませんように。■

注

1. "For Want of a Horseshoe Nail," ウィリアム・J・ベネット編, *The Book of Virtues: A Treasury of Great Moral Stories* (1993年), 198 - 200 参照



アンモン のように

モルモン書に登場するこの英雄は、
こんにち
今日の伝道活動と活発化について多くのことを教えてくれます。

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー

アンモンはモルモン書に登場する英雄であり、レーマン人の王ラモーナイの羊の群れを守るなど、勇敢な働きをしたことで知られています（アルマ17：25－39；18：1－10参照）。アンモンの話は、モルモン書に出てくるほかの多くの話と同様、どうすれば機会をとらえて、今日わたしたちが直面する問題を克服することができるのかを教えてください。

有意義な伝道

アメリカ合衆国ニュージャージー州ミルビルに住むスザンヌ・E・タラセビッチ姉妹は、夫のアドルフと一緒に専任宣教師として奉仕しているときに、幾つかの教訓をアンモンから学びました。彼女は次のように言っています。

「わたしたちへ伝道の召しの手紙の入った大きな白い封筒が郵便受けに届いたとき、夫とわたしは我を忘れて喜びました。この召しについて、わたしたちは断食して祈ってきました。どこで奉仕する割り当てが来るのかと心配していたわけではありません。自分たちには有意義な伝道をする能力があるという確証がどうしても欲しかったのです。

その晩、集まって来た子供や孫に囲まれて、わたしたちは封筒を開け、手紙を読みました。ポーランドのワルシャワ伝道部への召しでした。読んでいて、わたしたちは心に平安を感じました。これは確かに、わたしたちに

向けた召しでした。夫もわたしも飛び上がるほど喜びました。」

ところが伝道部に到着してみると、タラセビッチ姉妹は自分が何に貢献できるのかが分からず、悩みました。彼女はこう言っています。「夫には直ちに仕事が与えられました。指導者として働くという、やりがいがあり、成長できる機会が与えられたのです。夫もわたしもポーランド語は話せませんでしたが、夫は言葉の壁を物ともせず奉仕しているように見えました。」それに対して姉妹の方は、「自分は役に立たないと感じて悩むことがよくあり、孤独でした。自分の伝道には意味があるだろうか、疑問に思いました。」

強力な宣教師

タラセビッチ姉妹は、自分はモルモン書に出てくる偉大な宣教師のことを考えているのだと気がつきました。「長年初等協会の教師をしてきましたが、よくアルマやモーサヤの息子たちの話を交えて、伝道活動について教えたものです。アルマやモーサヤの息子たちの話をする、子供たちが奮い立って伝道する気になるからでした。宣教師というと、強くて力のあるアンモンの姿がいつも頭に浮かびました。また、現代のモーサヤの息子のようにこの伝道部で生き生きと働く若い宣教師のことなら、

イラスト／タンパー



いなくなった一人を見つけ

「わたしたち一人一人が、迷い出た人がどのような気持ちを感じているか、また、いなくなった一人を見つけるために99人を残して行く『霊的な』羊飼いになるとはどういうことか深く考えることが大切です。そのような羊飼いは、捜索救助隊の専門技術と援助を必要とするかもしれませんが、現場にいて、いつでも手助けできる状態で救助隊のすぐ傍らを登って行きます。彼らは神の目に無限の価値を持つ人々を救うためにそうするので、その人々が神の子供だからです。」

十二使徒定員会
L・トム・ペリー長老
「人々をわたしのものと
連れて来なさい」
『リアホナ』2009年5月号, 112

すぐに思い浮かべることができるのでした。わたしのような白髪のおばあさんがそんなふう
に活躍することを望むなど、謙遜さの欠如の表れではないかと思ったりもしました。」

こう考えているときに、心の声がこんな問いをささやくのが聞こえたそうです。

「アンモンに最初に任された仕事は何でしたか。」

「僕しもべになって群れの世話をし、散らされた羊を集めることでした」とタラセビッチ姉妹は答えました。

「そうですか。では、あなたはアンモンになりなさい。」

仕える備え

この心の声から、タラセビッチ姉妹はヒントを得ました。こう言っています。「突然、自分のやるべきことが、はっきりと分かりました。

すべての人を愛で養うことは、
アンモンの模範に従うための良い方法です。

自分はまだ伝道できるほど満足に言葉を覚えてはいないけれど、長い年月扶助協会で培ってきた経験を生かして人に奉仕することができるということに気がつきました。つまり、忘れられたと感じている人、人の輪に入れないと感じている人を探し出して愛することが、わたしにはできたのです。」

タラセビッチ姉妹は自分の伝道を新たな視点から見ようになりました。「キリストを中心にした原則に従えば、言葉がうまく話せないという弱点を補う方法は幾らでもあることに気づきました。群れの世話をし、散らされた羊を集めるために自分に何ができるのかが見えてきたのです。」

その後は、本人の言葉を借りると、「福音を受け入れた人たちの生活が福音によって変わり、豊かなものになっていくのを見るにつけ、シニア宣教師としての生活というものが、学び、奉仕するすばらしい期間だと思えるようになりました。」個人的に「アンモンの賛美歌」と呼んでいる歌を歌いたくなるのがよくあったそうです。「見よ、わたしの喜びは満ちており、胸は喜びでいっぱいである。だから、わたしは主にあって喜ぼう。」(アルマ 26:11)



写真：クレク・タイムモン

羊を救う

アメリカ合衆国ユタ州サウスウェーバーに住むベギー・ワラス・ポール姉妹は、救助と再活発化についてステーキの神権指導者と補助組織の指導者が集まる訓練集会でレッスンをしている。彼女がこう言っています。

「よく知っているアンモンのお話を読んでいて、アンモンには驚異的な力以外にも偉大な特質があることに気づきました。忘れてならないのは、アンモンがレーマン人の中で伝道していたということです。彼には王の羊を世話するという役割が与えられていました。ほかの僕と一緒に、水を飲ませるために羊をセブスの泉に連れて行くと、群れを悪者たちに散らされてしまいました。これは、ほかの僕にとってはひどく恐ろしい出来事でした。以前に羊を散らされた僕は処刑されていたため、自分たちも殺されるに違いないと思ったようでした（アルマ 17：25 - 30 参照）。

しかし、アンモンはそこに機会を見いだしました。そして、自分には計画があるから元気を出しなさい、とほかの僕たちに言ったのです。アルマ 17：31 - 33 を読んでください。その計画が分かりやすく説明されています。

1. 羊が散らされたことにできるかぎり早く気づく。
2. 『大急ぎで走って行〔く〕。』
3. 羊を集める。
4. 羊を無事に元の群れに戻す。
5. 羊を囲んで安全に守り、愛によって養う。』

この話がいかに再活発化に役立つかが分かって感激したとポール姉妹は言っています。「このアンモンの話は、散らされた会員を救助する今日の教会の指導者を象徴していると見ることができます。この話に出てくる悪者のように、世の中には、会員を福音の善い言葉から引き離そうとする様々な影響力があります。わたしたちは気をつけていて、主にとって大切な人が一人でも群れからいなくなったら、すぐに行動を起こさなければなりません。」

ポール姉妹は、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）の次の言葉を引用しています。「わたしには今、望み、祈っていることがあります。……皆さん一人一人に、困っている人、苦しみを抱えて困難な境遇にある人を見つけ、愛の心をもって教会に導く決心をしていただきたいのです。そしてその人たちが、教会員の力強い手と優しい心によって温かく迎えられ、慰められ、支えられ、幸福で実り多い道を歩めるようにしてほしいのです。」¹ ■

注

1. ゴードン・B・ヒンクレー「援助の手を差し伸べる」『聖徒の道』1997年1月号、99参照



アミュレクからも学ぶことができる

アミュレクもモルモン書に出てくる偉大な英雄です。義の道に戻ると、人はどう変わることができるかを教えてください。

裕福でよく知られた人物であったアミュレクは、神の奥義と力を目の当たりにしたにもかかわらず、心をかたくなにしています。「幾度となく呼ばれたが、わたしは聞こうとしなかった。だからわたしは、これらのことについて知っていながら、知りたいたいと思わなかった」と言っています（アルマ 10：6。4 - 5 節も参照）。

しかし主は、アミュレクに天使を送り、預言者アルマを家に迎え入れるよう言わせられました。アミュレクはアルマに食べ物を与え、アルマはアミュレクとその家族に祝福を与え、教を施しました。次にアミュレクはアルマの伝道の業に加わり、福音が真実であることを証する第2の力強い証人になったのです（アルマ 10：7 - 12 参照）。

アミュレクがアルマの同僚になって人々に悔い改めを叫び、大いなる力と権威をもって福音を宣べ伝えたため、人々は驚きました（アルマ 11：46 参照）。アルマとアミュレクは縛られて牢に入れられたものの、奇跡的な方法で逃れました。そしてシドンに教会を設立し、次に全地を巡って福音を教えたのです（アルマ 14：15；31 章）。

今日の教会には、ちょうどアミュレクのように、教会に戻れば、主が祝福してくださることと真理の有力な証人になれることが分かる人がたくさんいるのです。

宣教師を乗せたことで、
タクシー運転手の
ロジャー・ランドリアナリソンは、
主の弟子となる道に向かって
走り始めました。



平和の人となる

神殿と伝道と奉仕は、
ロジャーとその家族が
永遠の家族となる目標に向かう
助けとなりました。

教会機関誌

マシュー・D・フリットン



ジャー・ランドリアナリソン兄弟は、自分の家族の生活に何かが欠けていることを知っていました。

「自分の家族にとって導きとなるものを見つけだせるように、神に祈りました。正しい道に導く何か良いもので家族を導きたいと思ったのです」と、彼は語ります。

彼は3人の子供、息子のランドリアナンドリーとセディニリナ、それに娘のニリナの育て方について心配しました。自分の短気な性格が家族に問題を引き起こしてきたことを、悲しく思っていました。もっと思いやり深い親でありたいと思いました。

「自分の状態を見て、変わらなければならないのは自分だと思いました」と彼は語ります。

ロジャーは数年前に建設業を失職し、マダガスカルのアタナナリボでタクシー運転手として働いていました。ある日、彼は二人の姉妹宣教師を乗せました。

「彼女たちは車に乗ると、わたしの名前と、家族がいるかどうかを尋ねました。神はどのような御方であるか知っているか、また神に祈っているかどうかとも尋ねました」と彼は語ります。

車に乗っている間、宣教師たちはロジャーと一緒に歌を歌い、彼を教会に招待しました。彼は何度か行こうとしましたが、集会を自分のスケジュールに組み入れることができず、宣教師との連絡は途絶えました。

およそ5週間後のある日、ロジャーは家で働いていたとき、塀の外で二人の宣教師がだれかと話している声を聞きました。ロジャーは彼らが話をしに来ると分かっていました。彼は尋ねられる質問には何でも「はい」と答えなければならないという気持ちがありました。



家族として福音を学ぶことは、ランドリアナリソン家族が互いにもっと近づくのに助けとなりました。

宣教師たちは自己紹介した後、神について知っているかどうか彼に尋ねました。「はい。」「神に祈りたいですか。」「はい。」「宣教師と話したいですか。」「はい。」「いつ話したいですか。」「今です。」宣教師たちは20分後に戻って来ると言いました。そして、戻って来ると、近所に住んでいる会員が一緒でした。

宣教師たちは1か月の間、ロジャーの家で何度も彼を教えました。家族のほかの者は、教会についてうわさを聞いていたので、宣教師とともに学びたいとは思いませんでした。ロジャーは福音について1か月間学んだ後、宣教師と一緒に教会へ行きました。彼はその温かい歓迎に強い印象を受けました。「会員たちはずっと昔からわたしを知っているかのように、わたしを受け入れてくれました」と彼は語ります。

ロジャーは教会から帰宅すると、自分は1か月でバプテスマを受けるつもりであること、また家族が教会に入るのも入らないのも選ぶのは自由であることを家族に告げました。すると家族は彼に、一緒に入れるように待ってほしいと言いました。そして家族も集会に出席し始めました。これはうれしい驚きでした。

初めて教会の集会に出席したことは、ロジャーの長男ランドリアナンドリーに深い印象を残しました。「初めて教会に行ったとき、人々が非常に謙遜であったので、とても驚きました。まず、教会にふさわしい服装でした。その後、彼らは

ほかの人たちにいいところを見せるためではなく、目的をもってそこにいるのだということに、わたしは気づきました」と彼は語ります。

ランドリアナリソン家族は、2003年2月20日に家族全員でバプテスマを受けました。そのとき、ニリナは8歳、セディニリナは17歳、ランドリアナンドリーは19歳でした。家族は日曜日に働くのをやめて、福音に従って生活することを優先しました。

変化

「わたしはバプテスマを受けた後、家庭の中でたくさんの変化が見ました」と、ロジャーの妻アレリナは語ります。「霊的な家庭になり、福音に従って生活することで、この世的にも霊的にも非常に多くの祝福が与えられました。」

この世的な展望から、ロジャーは、天の御父が彼の事業の再建を助けてくださると信じていました。2年間、タクシーを運転し、また家族を養うためにできることを何でも行った後、彼は建築の契約を取れるようになりました。「神に従う決心をすると、神は必ず祝福してくださると、わたしは信じています」と、彼は語ります。

しかし、彼の息子たちは、自分たちが目にした最大の変化は父親の気性だと言います。今や父は謙遜と思いやりの

模範だと、彼らは述べます。ロジャーは、自分が変わらなければならないという強い気持ちを福音が与えてくれたと言います。福音を学び始めて以来、ロジャーは自分の生活を良いもので満たそうとしてきました。

「福音の教えのおかげで、わたしは決して腹を立てません。時々、怒りに誘われることがあります。わたしの心と頭と気持ちの中に福音があります。それが冷静になるのに助けとなっています」と、彼は語ります。

腹の立つような状況が生じたとき、ロジャーは家族を落ち着かせ、救い主が行われるような行動を取ることを彼らに思い出させます。

「父は謙遜になり、今は、愛をもって家族のことを気遣います。父が変わったのを見ると、天の御父と、福音と、また教会員であることに深く感謝します」と、セディニリナは述べます。

永遠の家族

2006年に、中央神殿参入者支援基金からの支援を受けて、ロジャーとアレリナは、神殿で結び固めを受けるために南アフリカのヨハネスバーグへ行きました。

2009年から2011年にかけて、セディニリナとランドリアナンドリーは南アフリカで宣教師として奉仕しました。セディニリナはケープタウンで、ランドリアナンドリーはヨハネスバーグで伝道したのです。彼らが伝道するに至った動機の一部は、自分たちの家族が変わったようにほかの家族も変わるよう助けるためでした。

「このような奇跡は起こります。我が家に宣教師が来たことで、奇跡が起こったのです。ですから、どこかで同じことを家族のために行いたいと思いました」と、ランドリアナンドリーは語ります。

その決心が、ランドリアナリソン家族にもう一つの祝福をもたらしました。セディニリナとランドリアナンドリーの二人が、9日間ヨハネスバーグ宣教師訓練センターで過ごしました。ロジャーはスケジュールを調整して、アレリナと娘のニリナを伴って南アフリカへ飛行機で行き、神殿で家族全員の結び固めを受ける

ことができたのです。当時14歳のニリナは、その経験と感じた気持ちは言葉に表せないと言っています。

「それはわたしの信仰を強め、神に近づいたと感じる助けになりました」と、彼女は語ります。

現在、その家族は周囲の人々を高め、強める働きをしています。ロジャーはワードのビショップとして奉仕しています。アレリナは初等協会で「神への信仰」プログラムに関する奉仕をしています。セディニリナはステーキ書記補助、ランドリアナンドリーはワード書記補助、そしてニリナはワード音楽指揮者です。

福音はランドリアナリソン家における祈りの答えとなってきました。それは古い傷を癒し、家族を近づけ、永遠に一つとなる機会を家族に与えてきました。それは愛することをロジャーに教えてきました。「家族の生活は愛に満ちた生活です」と、彼は語っています。



ヨハネスバーグ神殿で結び固めを受けるために南アフリカに行ったことで、ランドリアナリソン家族は強められました。



神殿参入者支援基金

「神殿から遠く離れた地域に住んでいるため、神殿に参入する費用を捻出できない会員がいる地域がまだあります。彼らは神殿がもたらす神聖で永続する祝福にあずかることができません。そのような会員を支援するために、わたしたちには中央神殿参入者支援基金という制度があります。この基金は、神殿に参入する機会を待ち望みながらも、神殿に参入することができない人々に、1度の参入ができるようにするものです。この基金への献金を希望する人は、毎月ビショップに渡している通常の献金用紙に、それが中央神殿参入者支援基金であることを明記するだけで献金することができます。」(訳注——日本で中央神殿参入者支援基金に献金をする場合、「什分の一・献金表」の「他」の欄に「A」と記入し、その右側の欄に献金の金額を記入し、郵便局で振込みを行います。)

トーマス・S・モンソン
「再びともに集い」
「リアホナ」2011年11月号, 5

マシューは戻って来るだろうか

わたしたちのワードには強い青少年のグループがあります。しかし、息子のマシューは、自動車や機械類が大好きな教会員でない人から話を聞いて彼に強く心を引かれました。残念なことに、この若者は宗教を尊ばない家庭の出身でした。彼の両親は家での飲酒と喫煙を許し、道徳的に清くあることが重要だとは信じていませんでした。

マシューはスカウト活動で最高位の章を獲得していましたが、スカウトの標準に従って生活することをやめたため、表彰式には参加しませんでした。わたしは息子のスカウト章をすべて集め、陳列ケースを作りました。それから、いつの日かそれが彼にとって価値あるものとなるようにと願いながら、それを片付けました。そのとき、マシューは16歳で、喫煙や飲酒をし、薬物も使っていました。彼は学校を中途退学し、ガールフレンドのところへ引っ越して行きました。何年もの間、めったに彼に

会いませんでした。

わたしたちの心は悲しみでいっぱいでした。いつか彼が家族と信仰に戻って来るかどうか分かりませんでしたが、わたしたちは、道を踏み外した息子に対処したアルマの模範に従うことにしました。アルマはその息子を愛し続け、彼は「真理の知識に導かれる」だろうという信仰をもって祈りました（モーサヤ 27:14）。

わたしたちは主がマシューの生活に介在してくださるようにと絶えず祈り、また機会あるごとに、わたしたちがどれほど彼を愛しているかを言葉と行いによって示しました。彼が家に来たとき、わたしたちは、非難や裁きと彼が感じるようなことを一言も言わないようにしました。彼に会えたことの喜びだけを口にしました。

ある日、マシューが家に来て、話をしたいと言いました。そして彼は次のような話をしました。彼はあるパーティーで、教会について質問があると

いう一人の若い女性に出会いました。すると、もう答えを知らないと言うよりも早く、彼の口をついて言葉が出始めたのです。そして、彼は彼女から尋ねられる質問に即座に答えている自分自身を発見しました。マシューは、自分が語ったことを学んだ記憶はないけれども、自分の言葉が真実であることを知っていると言いました。まだ福音を信じているのに今のような生活をしているのはなぜかと、彼は考えました。

3日間自分を見詰め直した後、彼は自分が送っている生活をやめようと決心しました。そして、再出発の助けを求めて家に帰って来たのでした。

マシューは、ほかの州にいる、同じような苦難を克服したいとこに電話し、一緒に暮らせるかどうか尋ねました。いとこは了承してくれました。そして、マシューは彼とともに教会の集會に出席し始め、悔い改めの過程を踏み助けを受けるためにビショップに会いました。彼は愛と支援を感じ、教会へ活発に集うようになりました。

やがて、彼は愛らしい、義に従っている若い女性に会い、二人は恋に落ちて、神殿で結婚しました。

最初の子供が生まれたとき、わたしは彼を訪ね、彼のスカウト章のために作った陳列ケースを渡しました。彼は感動し、誇らしげにそれを家の中でいちばん目立つ所に飾りました。

息子アルマに起こったように、わたしたちの息子に天使は現れたわけではありません。しかし、マシューが真理に立ち返ったことは天使の現れに匹敵する奇跡でした。■

匿名

わたしはマシューのスカウト章をすべて集め、陳列ケースを作りました。それから、いつの日かそれが彼にとって価値あるものとなるようにと願いながら、それを片付けました。



我が家に帰ったようでした

奉仕活動の一環として、わたしは数人の医師とともにルワンダに行きました。医療の需要にこたえるためです。2週間後、わたしの訪問が終わりを告げるころ、郷愁の想いが募ってきました。わたしの家族、心地よいベッド、家庭が恋しくなってきたのです。

アフリカでの最後の日曜日に、教会に出席するために日程を調整することができました。ルワンダで教会は正式に組織されていませんでしたが、教会のウェブサイトから集会所への道順と集会時間を探すことができました。

道順はこうでした。「庁舎ビルを横切って石畳の通りを進み、開いている門を探してください。そこの階段を下りてください。」

この道順に従って行くと、聞き慣れた賛美歌のはっきりとした旋律が聞こえてきました。階段を下りて行くと、それは、「主のみ言葉」(『賛美歌』46番)の歌詞であることが分かりました。階段の下に小さな建物があり、そこで数十人のほほえんだ人たちが入口で行き交っていました。集会に集まった人々にとってわたしは見知らぬ人間だったにもかかわらず、すぐに親近感を覚え

ました。数十人のルワンダ人の兄弟姉妹が進み出て、わたしに握手を求めました。それに応じているうちに、寂しさから来る重苦しい思いは消え去り、我が家に帰ったようでした。

その建物の中に入り、カリフォルニアの地元のワードと変わらない標準的な3時間プログラムに出席しました。

集会に集まった人々にとってわたしは見知らぬ人間だったにもかかわらず、すぐに親近感を覚えました。数十人のルワンダ人の兄弟姉妹が進み出て、わたしに握手を求めました。

アロン神権者が^{せいさん}聖餐を配り、聖餐会の話は救い主を中心とし、日曜学校のレッスンはその週にわたしの地元のワードで教えていたのと同じでした。

最も大切なことは、主の御霊^{みたま}が集会に浸透していたことでした。主に仕えようと最善を尽くしている善良な人々に主が優しくほほえんでいるのは確かでした。前の年には、ほんの一握りのルワンダ人しかこの集会に出席していませんでした。今では100人以上の人が出席していて、その半分はほほえんでいる子供たちでした。

ルワンダで伝道活動の道が開かれた今、増え続けるルワンダ人の求道者に、回復された教会がすべての大陸、すべての民族、そしてすべての神の子供たちにとっての神の王国であると聖霊^{あかし}が証されることで、宣教師は大きな成功を収めるのではないかと思います。教会がカリフォルニアの中央海岸にあらうと、中央アフリカの石畳の通りを進んだ所であらうと、わたしはこの教会に感謝する気持ちでいっぱいです。■

スティーブン・セインズベリー
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)



なぜレックスバーグに来たのですか

教会の会員数が少ない地域に数年間住んでいた夫とわたしは、アメリカ合衆国にあるアイダホ州レックスバーグのある地域に引っ越しました。そこには別のキリスト教会の会員が2家族だけ住んでいて、その一家族の隣に住むことができたのは幸運でした。

我が家に初めて車で到着したとき、その家族の父親が芝生を刈っているところでした。知り合いになれるように、夫とわたしは自分の庭を横切って彼のところに行きました。わたしは手を差し出しながら尋ねました。「あなたの家族はなぜレックスバーグに来たのですか。」

彼はこう答えました。「仕事のためです。それと、キリストを紹介することが必要な町を特に探しました。」

わたしはバケツ1杯の冷たい水を顔に浴びせられたように感じましたが、

ほほえみました。そのときわたしは、この新しい隣人の言葉や行いがどうであれ、その家族にとって**最良の隣人**になろうと心に決めました。彼らとのあらゆる会話において、救い主がされるように、親切に、愛を込めて、分別のある方法で対応しようと思いました。

それから8年間、わたしたちはこの家族とたくさんのことをしました。母親を扶助協会の活動に招待し、彼女は、彼女の教会が後援しているキリスト教の婦人野外活動にわたしと近所のたくさんの教会員を招いてくれました。夫とわたしは、その家族の子供たちのダンスやピアノの発表会に誘われました。この家族は近所の人たちと行う野外料理やパーティーに参加していました。年上の子供たちは、仕事から家に帰る車が必要で自分の両親と連絡が取れないときには、わたしたちに電話をしてくれました。

両親は子供たちが末日聖徒に好意を持ちすぎることを心配して、ワードのスカウトプログラムには参加させませんでした。しかしわたしたちの家庭が安全な場所であると思っていたので、わたしたちの孫が家に来ると、彼らの子供たちと一緒に遊ばせてくれました。

彼らが「わたしたちの方法が間違っている」ことを気づかせようとするとき、わたしたちはいつも、彼らの信仰、生活様式、子供の教育方法に最大の敬意を払っていることを伝えました。そして、わたしたちの信仰も救い主の教えを中心としているので、同じ敬意を払ってほしいと付け加えました。

母親が末日聖徒は自分たちと「違うイエス」を信じていると主張して、越えることのできない深い溝があるかのようにわたしたちの違いを指摘しようとしたとき、イエスが聖なる御方であり、神の愛する御子であると、わたしたちがともに信じていることを伝えました。最終的には、温かく、友好的な関係を築くことができました。

この家族は教会に改宗しないで引っ越しました。でも彼らが、「わたしたちはモルモン教徒に囲まれて住んでいました。彼らは誠実な心を持った、善良で尊敬に値する人たちです」と言うことができれば、わたしたちは彼らにとって良い隣人で、末日聖徒をさらに率直で公平に評価できるようになる助けをすることにおいて成功したのだと思います。■

サンドラ・ラッシュ(アメリカ合衆国、アイダホ州)

この新しい隣人の言葉や行いがどうであれ、その家族にとって**最良の隣人**になろうと心に決めました。



一箱の写真

数年前、夫とわたしが近くのごみ処理場にごみを捨てていたとき、そこで働いていた女性の一人が、一つの箱を取り上げて焼却炉に入れようとしているのに気がつきました。突然、その箱が壊れて開き、何枚かの写真がこぼれ落ちました。

それを見ていたとき、その箱の写真を取りに行くようにという強い印象を受けたので、車から飛び降りてその写真を拾う手助けをしました。その女性とわたしはその写真が間違っ捨てられたと感じました。持ち主を探して写真を返せるように写真を引き取らせてほしいと、わたしは彼女を説得しました。

箱の中にあつた数百枚の写真を見ると、カナダのアルバータ州ウォーバークの人にあてられた封筒が見つかりました。それから数年間、同じ名字の人たちに数回手紙を書きましたが、返事は来ませんでした。

わたしの家族がインターネットにアクセスできるようになってから、ウォーバークに歴史協会があることが分かりました。そこで働いているだけだが、写真の裏に書かれた名前の人を知らないか尋ねました。

1か月後、その歴史協会から連絡を受けたという男性から電話がありました。その男性の妹がわたしたちの近くに住んでいるので、その写真を見ることができるかどうか聞かれました。もちろん承諾しました。

次の日、フロイド・ホーソンとバス・ホーソンという末日聖徒が写真を見に来ました。わたしが箱を開けたとき、ホーソン兄弟はいちばん上にあつた写真を指してこう言いました。「あ、これ

彼だよ。」それはホーソン姉妹のおじいさんの写真だったので。

写真を1枚ずつ手に取りながら、ホーソン兄弟姉妹は写真に写っている人のことを話してくれました。この写真を捨てた人がホーソン家の親戚とは思えなかったので、写真がどうしてごみ処理場にまで行ったのかまったく分からないということでした。

ホーソン家族にこの写真を戻すように、天父がわたしを助けられたと強く感じています。家族歴史は、なすべき最も大切な業の一つであることを証あかしします。わたしたちが喜んでこの業を果たすなら、それができるように主が助けてくださいます。■

シンディ・ヘギー (カナダ、アルバータ州)

突然、その箱が壊れて開き、何枚かの写真がこぼれ落ちました。それを見ていたとき、その箱の写真を取りに行くようにという強い印象を受けました。



どうすれば宣教師として 成功することができるでしょうか

同僚とわたしがどれほど熱心に働いても、
すべての人からわたしたちのメッセージを断られました。
宣教師として成功するために、わたしたちには何ができたでしょうか。

ローレン・バンガター・ワイルド

伝道に出て1年と少したったころ、わたしはこれまでになくつらい時期を経験しました。暗く憂鬱な季節のまっただ中で、これから寒い冬を抜け出し、春に移り変わろうとしていました。同僚とわたしがどれほど熱心に働いても、話しかけた人は皆、わたしたちのメッセージをきっぱりと断りました。ほかの宣教師と会って話したとき、彼らの伝道はうまくいっているということが分かりました。わたしたちの伝道がこれほどまでにうまくいかないのはなぜなのか、思い当たることは何一つありませんでした。わたしは伝道に出てもうずいぶん時間がたち、言葉も上手に話すことができました。同僚関係は良好でしたし、会員との信頼関係も申し分ありませんでした。また、わたしたちは御霊に従い、伝道部の規則を厳密に守るよう努力しました。

しかし、どんなに頑張っても、わたしたちはことあるごとに断られました。このような状況が何週間にもわたって続き、わたしは不機嫌な態度を抑え切れなくなりました。ある計画会のとき、わたしはとうとう次のように叫んでしまったのです。「こんなことして何の役に立つの？ 結局、だれもわたしたちの

言うことを聞いてくれないじゃない。」同僚は、わたしよりも前向きに物事を考える人で、あっさりとした口調でこう言いました。「信仰を示すために目標を立てましょう。目標を実行に移して、祝福を数えるのよ。」

彼女の意見について深く考えたとき、わたしは自分が間違った物差しで宣教師としての成功を測っていたことに気づきました。『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』には成功する宣教師の行動が挙げられていますが、¹わたしはそのすべての行動が、宣教師自身が決める範囲内にあることに気づきました。伝道地にいる人々が福音のメッセージを受け入れるかどうかを決めることはできませんでした。しかし、自分がどのような宣教師になるかを決めることはできたのです。同僚はわたしに、イエス・キリストに対してもっと深い信仰を持ち、主の祝福に感謝することで、自分がすでに成功している宣教師であるということを見せてくれたのです。

信仰は奇跡を明らかにする

自分には信仰が足りないということが分かり、謙遜になりました。どのような分野で自分の信仰を深くすること

ができるか、よく考えてみました。その結果、物事が計画どおりに進まないときに、つつい落ち込んでしまっていたことが分かりました。『わたしの福音を宣べ伝えなさい』にはこう書かれています。「落胆してはなりません。落胆はあなたの信仰を弱めるからです。期待する基準を下げてしまうと、効果が弱まり、望みが低くなって、御霊に従うことが非常に難しくなります。」²失敗することで自分の信仰を弱めてしまっていたことに気づきました。

わたしは心の変化とより大きな信仰を求めて、祈ることから始めました。また、モルモン書第9章21節で与えられている約束に頼りました。「何も疑わないうでキリストを信じる者には、キリストの名によって御父に求めるものは何でも与えられるであろう。この約束はすべての人に、すなわち地の果てまで及ぶものである。」この約束は、同僚とわたしが必要と感じた祝福と奇跡を求めてさらに熱心に祈り、「御心になりますように」といつも付け加えることができるよう導いてくれました。このような祈りは、思いどおりにいかない計画や失敗をより大きな信仰をもって受け入れ、また、祈りの答えが予想以外の手段で来るときに



宣教師として成功する

以下のことを行うときに、宣教師として成功していることが分かります。

- 御霊があなたを通して人々に証^{あかし}しているのを感じる。
- 人々を愛し、彼らの救いを望んでいる。
- 宣教師の規則に厳密に従っている。
- キリストのような特質を養っている。
- 罪のもたらす結果について人々に警告している。人々が決意し、決意を貫くよう勧めている。
- 人々がメッセージを受け入れるかどうかにかかわらず、あらゆる機会をとらえて彼らに善を行い、奉仕している。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい——
伝道活動のガイド』(2004年) 10-11より



主に 受け入れられる

「主に受け入れられ、主の約束された祝福にあずかりたいという望みを持つように心からお勧めします。……役職、地位、様々な障害に関係なく、主に受け入れられていることが分かる〔ことができます。主に愛され受け入れられていることで、力がわき、信仰が増し、人生のあらゆる出来事に対処できるようになります。困難の中にあっても、成功し、栄えて〔モーサヤ2:22参照〕、心安らかにしていただけるでしょう〔モーサヤ2:41参照〕。』

エリック・W・コビュシカ長老
『主によって受け入れられる』
『リアホナ』2013年5月号, 106

も、受け入れられる力となりました。主がわたしたちを一日中ずっと導かれる方法が、もっとよく分かるようになりました。

信仰を深める取り組みの中で、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』にある前向きな言葉が真実であることに気づきました。自分が持つ能力に対する期待の基準を上げると、効果が上がり、意欲が高まり、御霊によりよく従うことができるようになります。さらには、毎日起こる奇跡に気づいて感謝できたとき、伝道活動や奉仕についてもっと前向きに考えられるようになりました。

感謝は嫉妬^{しつと}心を弱める

主は毎日、わたしたちのために奇跡を行っておられることを示し始められましたが、心から感謝するために意識的に努力することによって初めて、わたしはそれらの奇跡に気づくことができました。感謝を表すという行為は、単なる良い習慣や態度ではありません。主やほかの人々に感謝を表すときに、わたしは力づけられました。ほかの宣教師が成功したときには、ねたむのではなく、大喜びしていました(アルマ29:14, 16参照)。自分は何が足りないのか、何がうまくいっていないのかということよりも、自分は何を授かり、何がうまくいったのかということにもっと心に向けられるようになったのです。

感謝の心は自分をほかの人と比較しないようにするための対処法であることを学びました。通常、「わたしは彼らのようにうまくやれていない」あるいは「彼らの方が自分よりもこの点で優れている」と思うことが原因で、自分が成功を収めている宣教師ではないと感じていました。見習い従うべき正しい模範を示すのが主の方法であるのに対して、自分をほかの人と比較

することで自分の価値や成功を測るよう誘惑するのが、サタンの用いる偽りの方法であることを学びました。しかし、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』はこのことについて明記しています。「ほかの宣教師と自分を比べたり、あなたの努力によってもたらされた表面的な結果についてほかの宣教師と比べたりしてはなりません。」³ 結局ところ、感謝の心は高慢を避け、主が御自身の業に責任を持たれるということを思い起こすのに役立ちました。自分の仲間である宣教師がより大きな成功を収めているように見えるからといって、嫉妬する必要はなかったのです。⁴

成功を測る真の尺度

物の見方にこのような変化が起こる前は、特定の種類の祝福にばかり目を向けすぎて、主がわたしたちの祈りにこたえ、わたしたちの伝道活動に祝福をもたらしてくださるほかの方法に目を配ることを忘れていました。最終的に、主はわたしたちの地域における伝道活動を、美しくかつ思いも寄らない方法で祝福し始められました。わたしたちのメッセージを喜んで受け入れる人々が見つかるようになりました。しかし、そのころまでには、わたしも自分の成功をほかの人の選択によって測らないようになっていました。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910-2008年)は、伝道活動に関して、ある伝道部会長の勧告を紹介しました。「全力で働き、最善を尽くしてください。祈りを忘れずに、一生懸命働いて、刈り入れは主にゆだねてください。」⁵ 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』で、成功する宣教師について同様のことが教えられています。「毎日熱心に働いて、人々をキリストのもとへ導くために全力を尽くし、学び、進歩することを熱心に求めている。」⁶



多くの点で、わたしの宣教師としての成功をどのように評価するかは、その進んで悔い改める姿勢や働き続けようと決心することによって測られたのです。

進んで悔い改めるかぎり、自分は全力を尽くしていると主に正直に報告できるかぎり、人々がわたしたちのメッセージを受け入れるか否かに関係なく、わたしは自分が宣教師として成功しているという確信を感じることができました。多くの点で、わたしの宣教師としての成功をどのように評価するかは、その進んで悔い改める姿勢や働き続けようと決心することによって測られたのです。

伝道期間中のこの時期の日記には、たくさんの奇跡が記されています。もっと忠実であり、感謝しようと努力していたとき、わたしはより良い物の見方をし、落胆を避け、伝道活動にあってより豊かに御霊を感じることができました。『わたしの福音を宣べ伝えなさい』で次のように教えられている

ことは真実だと分かりました。「最善を尽くしていてもなお落胆を経験することはありますが、自分に対して落胆してはなりません。御霊があなたを通して働いていると感じるとき、主はあなたを喜んでおられると確信できます。」⁷ そして、主がわたしを喜んでおられると感じたとき、わたしはあらゆる試練に耐えることができました。



筆者はアメリカ合衆国メイン州に住んでいます。

注

- 1.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』10 - 11 参照
- 2.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』10
- 3.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』10
- 4.ジェフリー・R・ホランド「ぶどう園の労働者たち」『リアホナ』2012年5月号, 31 参照
- 5.ゴードン・B・ヒンクレー「子羊を見いだし、羊を養う」『リアホナ』1999年7月号, 123
- 6.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』10
- 7.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』11

あなたの経験を分かち合う

「最近伝道から帰って来ましたが、目的意識を失ってしまったように感じます。どうすればよいでしょうか。」

帰還宣教師の皆さん、伝道から帰還し、復学や就職、その他のことを行うために、どのように生活を切り替えたか、お聞かせください。電子メールであなたの経験を liahona@ldschurch.org まで送るか、liahona.lds.org を通してオンラインで投稿してください。名前、誕生日、ワードまたは支部名を書き添えてください。



PMG 宣教師になる



十二使徒定員会
デビッド・A・
ベドナー長老

あなたならできます！
あなたが代表者として、
仕える主がそのことを御存じです。
わたしもあなたならでき
ると知っています。

使徒は何はさておき、いつでも
宣教師として働きます。その
ようなわけで、わたしはこの
偉大な末日の業に働く同じ僕として、
皆さんにお話しできる機会をほんとう
に喜んでいます。

PMG(『わたしの福音を宣べ伝えなさい』)
宣教師とは何でしょうか？

PMG 宣教師は、預言によって召され、
按手によって権能を授けられた
主の僕であり、救い主の回復された
永遠の福音を主の方法で宣言します
(教義と聖約 50 : 13 - 14, 17 - 24 ;
教義と聖約 68 : 1 参照)。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』に
述べられている宣教師の最も重要な目的
は、「人々にキリストのもとへ来るよう
勧めることです。そのためにあなたは、
イエス・キリストとキリストの贖いを信じ
る信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の
賜物を受けること、最後まで堪え忍ぶ
ことを通して、彼らが回復された福音
を受け入れられるよう助けるのです。」¹

権威をもって福音を宣言し、救いの
儀式を執行するという神聖な責任は、
アダムがエデンの園から追放されて
以来与えられており、「大いなるエホバ
〔が〕、御業は成ったと告げられる」まで
続くでしょう。²

PMG 宣教師になる条件

わたしは **PMG** 宣教師になるための5つの基本的な条件について話したいと思います。

条件1——PMG 宣教師は、自分がイエス・キリストに仕え、イエス・キリストを代表することを理解しています。

PMG 宣教師は自分がだれを代表するのか、なぜ仕えるのか、何をしなければならないのかを知り、理解しています。専任宣教師は主に仕えるように召され、主イエス・キリストの僕として、また代表者として、正当な権能を持つ者から任命を受けます。わたしたちはあらゆる国民、部族、^み言語の民、民族に、イエス・キリストの御名について、またその実在、神性、使命について^{あかし}証します（教義と聖約133：37 参照）。

わたしたちは主を愛しています。主に仕え、主に従い、主を代表します。

主の目的がわたしたちの目的でなければなりません。主の関心がわたしたちの関心、主の業がわたしたちの業、主の方法がわたしたちの方法であるべきです。主の思いがますますわたしたちの思いとなるべきです。

贖い主の代表者として、わたしたちは主の回復された福音の基本的な教義や原則を簡潔明瞭^{めいりょう}に宣べ伝えます。個人的な意見や憶測は差し挟みません。回復された簡潔な真理について、主の方法で、また御霊^{みたま}の力によって宣言し、証します。

PMG 宣教師は、救い主を代表し、救い主について証するという責任に終わりが無いことを理解しています。何を考えるにしても、何をするにしても、また何かになろうと努力するにしても、主を忘れることなく、自分が接する天の御父のすべての子供たちの



前で、常に主のふさわしい代表者であってください。

条件2——PMG 宣教師はふさわしくあります。

PMG 宣教師になるための最も重要な条件は、救い主の前に自分がふさわしくあることです。

単純な真理を、わたしの知るかぎり明瞭な方法で幾つか述べさせてください。

- わたしたちは世の贖い主、救い主の権能を有する代表者です。
- わたしたちは主の回復された永遠の福音を宣言するよう召されています。

- わたしたちは世の汚れに染まってはなりません。権威をもって主の代表者となり、主の聖なる御名によって力強く行動します。
- わたしたちは、自分が罪にかかわっているながら、人が罪の束縛を断ち切るのを助けることはできません（教義と聖約88：86 参照）。
- わたしたちは、自分が適切かつ完全に悔い改めることを学んでいないのであれば、ほかの人が悔い改めることを学ぶのを助けることはできません。
- わたしたちは、自分がそうならうと努力している事柄に関してのみ、力強く宣言し、宣べ伝えることができます。
- わたしたちは神の代理人として行動するとき、正しい望みとふさわしさについて、神の前で責任を問われるでしょう。

わたしたちは現時点で完全であるようには求められません。しかし、清くあり、イスラエルの贖い主の前をまっすぐに歩むようにと命じられています。「主の器を担う者たちよ、清くありなさい。」（教義と聖約38：42）

悔い改めは、落胆と失望ではなく、希望^{いや}と癒しの原則です。悔い改める^{けんそん}ときに、人は恐れるのではなく、謙遜になります。悔い改めることによって、つらくても慰めを、厳しくても安らぎを与えられます。悔い改めは、わたしたちが愛し、仕え、従う御方の贖いを通して可能となる計り知れないほど貴重な贈り物です。

皆さんは重大な罪を犯したことがあるとしても、これまでイエス・キリストの贖いと心からの悔い改めを通して、清くふさわしい者となってきました。

「あなたはこの人たちが愛する以上、わたしを愛するから」ニヒレド・リンジン

また、これからもそのようになれます。

まだ十分に悔い改める必要のある若人もいます。今こそ、その時です。どうか、どうか、悔い改めの日を引き延ばさないでください。

すでに悔い改め、今も悔い改め続けていても、主に受け入れてもらうために必要なことをすべて行ったかどうか疑問に思っている若人がいます（教義と聖約 97:8 参照）。主は皆さんに清くあるよう求めておられますが、完全であるよう求めてはおられないことを覚えておいてください。皆さんの生活に聖霊が再び働きかけているとしたら、それが主による赦しの最も確かな指標です。なぜなら「主の御霊は清くない宮にはとどまらない」からです（ヒラマン 4:24）。そして「すべての人を赦す」（教義と聖約 64:10）という戒めには、自分自身を赦すことも含まれる、ということに気づいてください。

PMG 宣教師は聖約を尊び、戒めに従う主イエス・キリストの弟子です。



いつも主を覚え、清く、主を代表するにふさわしくあってください。

条件 3 — PMG 宣教師は永遠の命の言葉を大切に蓄えます。

わたしは皆さんに「絶えず命の言葉をあなたがたの心の中に大切に蓄える」ように勧めます（教義と聖約 84:85）。永遠の命の言葉を大切に蓄えるとは、単に学習したり暗記したりすることではありません。「キリストの言葉をよく味わ〔うこと〕」（2 ニーファイ 31:20。2 ニーファイ 32:3 も参照）が、単に味見したり、つまんだりすることではないのと同じです。大切に蓄えるとは、集中する、努力する、研究する、吸収する、深く考え祈る、応用し習得する、大切にすること、感謝する、楽しむ、かみしめるということを示唆しているとわたしは思います。

モーサヤの息子たち、アンモン、アロン、オムナー、ヒムナイという名の真に傑出した 4 人の宣教師が「正しい理解力を備えた人々であり、また神の言葉を知るために聖文を熱心に調べてきたので、すでに真理を深く知るようになっていた」、その状況を思い起こしてください（アルマ 17:2）。

これらの勇敢な宣教師は、真の意

味で絶えず命の言葉を大切に蓄えました。個人の聖文学習や同僚との聖文学習を怠ったり、単なる日課としてこなしたりすることはありませんでした。霊的な知識と理解は彼らの魂の奥深くまで浸透し、福音の教義と原則は聖霊の力により、真実のものとして、彼らの心の中に確認されていたのです。

救い主の代表者として、皆さんもわたしも絶えず勤勉に働き、回復された福音、特に、モルモン書に含まれる基本的な教義と原則を自らの心と思いこみに植え付ける責任があります。そうするときに、わたしたちは祝福を与えられます。わたしたちが教え、証するときに、聖霊が「〔わたしたちに〕ことごとく思い起こさせ」（ヨハネ 14:26）、力を与えてくれるのです。しかし、働きかけることのできる何かをわたしたちが御霊に提供しなければ、御霊はわたしたちとともに、またわたしたちを通して働くことができません。御霊はわたしたちが学んでいないことを思い起こすよう助けることはできないからです（アルマ 31:5 参照）。

PMG 宣教師は絶えず永遠の命の言葉を大切に蓄えます。言葉の力を信頼します。また自らの内に言葉の力があります。いつも主を覚え、いつも

主を代表するにふさわしくあり、言葉の力を大切に蓄え、信頼してください。

条件4——PMG 宣教師は聖霊こそ究極的な真の教師であられることを理解しています。

聖霊は神会の3番目の御方です。また、すべての真理の証人であり、究極的な真の教師であられます。わたしたちが教えるレッスンやわたしたちが口にする証は、求道者が自分で行動し学ぶときの備えとなります。

宣教師としてわたしたちに与えられた最も大切な役割の一つは、求道者に道徳的な選択の自由を行使し、救い主の教えに従って行動するよう促すことです。霊的な決意をし、その決意を貫こうと思えば、例えば、真理の証を求めて祈り、モルモン書を研究し、それについて祈り、教会の集会に出席し、戒めを守ることです。求道者は信仰を行使し、行動し、変わる必要があります。

どれほど熱心に奉仕したかは関係ありません。皆さんもわたしも求道者の心に真理を強制することはできないのです。最善の努力をしても、わたしたちには真理のメッセージを求道者の心の方へ伝えることしかできません(2ニーファイ33:1参照)。結局のところ、求道者は義になかった行動をし、そうすることによって真理を自分の心の中に招く必要があるのです。その方法によってのみ、真理を誠実に求める人たちや新しい改宗者は、自分で答えを見いだすための霊的な力を身に付けることができます。

わたしたちの責任は、求道者が信仰によって、また聖霊の力によって学ぶことができるよう助けることです。

したがって、この業は、決してわたしの業でも、皆さんの業でもないのです。わたしたちは宣教師としての責任を全力で果たす必要がありますが、同時に聖霊がその神聖な機能と業を成し遂げられるのを邪魔するようなことがあってはなりません。実際、わたしたちが提示するメッセージであれ、わたしたちが用いる方法であれ、わたしたちの個人的な態度や外見であれ、皆さんやわたしが、救い主の代表者でありながら、自分に注目を集めるために行うことはすべて、聖霊が教えられる効果を妨げる一種の偽善売教なのです。

「真理の御霊によってそれを宣べ伝えるか、それとも何かほかの方法によって宣べ伝えるか。もしもそれが何かほかの方法によらずれば、それは神から出てはいない。」(教義と聖約50:17-18)

いつも主を覚え、主を代表する者としてふさわしくあり、主の御言葉^{みことば}を大切に蓄え、究極的な真の教師である聖霊

にすべての真理を証していただけるようにしてください。

条件5——PMG 宣教師は、教えることが単におしゃべりをしたり話したりすることではないことを理解しています。

オリブ山で座られたとき、救い主はこう宣言されました。「何を言おうかと、前もって心配するな。その場合、自分に示されることを語るがよい。語る者はあなたがた自身ではなくて、聖霊である。」(マルコ13:11)

この神権時代の初期、救い主は宣教師にこう指示されました。「あなたがたの口を開きなさい。そうすれば、あなたがたの口は満たされるであろう。」(教義と聖約33:8, 10)「この民に向かって声を上げなさい。わたしがあなたがたの心の中に入れる思いを語りなさい。そうすれば、あなたがたは人々の前で辱められることはないであろう。あなたがたの言うべきこと



は、まさにそのときに、まことにその瞬間にあなたがたに授けられるからである。」(教義と聖約 100:5-6)

これらの聖句は、福音を宣べ伝え、求道者が真理を学ぶよう助けるうえで、最も大変な努力を必要とする、かつ厳格な方法を強調しています。PMG宣教師は、わたしたちが教えるのは人であって、レッスンではないことを知っています。わたしたちは単に福音のテーマに関するメッセージを覚え、それを復唱したり紹介したりするものではありません。真理を求める人々に大きな心の変化を経験するよう勧めているのです。わたしたちはおしゃべりをしたり話したりするだけでは、教えることにならないということを理解しているのです。

主の方法で福音を宣べ伝えることには、話す前の条件として観察すること、耳を傾けること、識別することが含まれています。これら4つの過程は相互に関連し合っており、その順番には意味があります。積極的に観察し耳を傾けることが識別することに先行していること、また、観察し、耳を傾け、識別することが話すことの前に来ている点に注目してください。この方法を採用することで、宣教師は求道者の必要を特定し、その必要に応じた教え方ができるのです。

観察し、耳を傾け、識別するときに、わたしたちは特定の求道者の個々の必要に合わせて強調すべき真理や与えるべき答え、「それぞれの者に必要な部分が、必要なそのときに」(教義と聖約 84:85) 与えられます。観察し、耳を傾け、識別することによってのみ、わたしたちは御霊の導きを受け、自分たちが仕える人々に最も



役に立つことを言葉や行動に表すことができるのです。

観察することは、霊的な識別の賜物を受けるための最も大切な準備です。識別とは、霊的な目で見ること、さらには心で感じることです。偽りの考え、ほかの人の長所、あるいは求道者を助けるうえで次に必要となる原則を見て感じることです。識別することは、霊的な耳で聞くこと、さらには心で感じることです。意見または質問に隠された言葉にならない不安、証または教義の真実性、あるいは聖霊の力によってもたらされる確信や平安を聞き感じることです。

PMG宣教師は信仰をもって行動し、求道者が真理を学ぶのを助けるために御霊の導きを受けます。誠実に真理を求める人たちにイエス・キリストについて証するために、いつも主を覚え、主を代表するにふさわしくあり、主の言葉を大切に蓄え、聖霊にすべての真理を証していただけるようにし、観察し、耳を傾け、識別してください。

皆さんならできます!

皆さんはわたしのメッセージを読み、ほかの青少年は皆、わたしが今まで述べてきたことができ、また、そうす

るだろうと思っても、ほんとうにできるかどうか疑問に思うかもしれません。耳を傾けてください。皆さんならできます!

わたしの心の願いを遂げることができるとしたら、わたしは皆さん一人一人と個別に少しの時間を過ごしましょう。皆さんと握手をし、皆さんを引き寄せ、皆さんの目を見詰めて、こう言うでしょう。「あなたならできます!あなたが代表し、仕える主がそのことを御存じです。わたしもあなたならできると知っています。主の僕として、わたしはあなたに主の助けがあると約束します。主の助けと力があれば、自分はできるということを、いつも忘れないでください!」

わたしは皆さんを愛し、皆さんが主に望まれる者になろうと努力するときに、主の声と導きに気づき、信仰をもってこたえることができるように祈ります。そうするときに皆さんは文字どおり、主イエス・キリストの力強く有能な代表者となることができるのです。■

2011年6月24日にプロボ宣教師訓練センターにおいて行われたデイボーションナル説教からの抜粋。

注

1. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』(2004年) 1
2. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』142

ただほほえみながら 「いいえ」と言う

ヘーゼル・マリイ・ティビュール

あの夏のこと、わたしはフィリピン、ビコルのある島で行われた実習に参加しました。海の景色はすばらしく、毎朝が楽しみでした。

しかし、夜は恐怖でした。そのころになると、キャンプの人たちはお酒を飲み、宴会を開き始めたからです。そのような宴会へは頻繁に誘われ、同僚の実習生もわたしも出席しなければなりません。そうしないと彼らに失礼だったからです。

最初の宴会は新しい実習生のための歓迎会でした。わたしは出席したくありませんでした。お酒を勧められることは間違いなく、どのように断ればよいのか分からなかったからです。地元のワードの友人に電話をかけたところ、自信を持たせてくれる幾つかのすばらしい助言をもらいました。

宴会が始まり、お酒を勧められましたが、幸運なことに、強制はされませんでした。同僚実習生は、お酒を飲まないというわたしの立場を理解し、次からはお酒の誘いを断るのが楽になりました。しかし、ある夜の宴会は別でした。会社の社長が参加した宴会です。社長は一瓶のランバング(ココヤシから作る地元のお酒)を抱えていました。宴会場にやってくる時、

すぐにそのワインを注ぎ始めました。社長は「君も飲み方を学ばなくちゃね」といってランバングの入ったグラスを一人の実習生に渡しました。彼女は一気に飲み干しました。

わたしの心臓は激しく鼓動し始めました。すぐにわたしの番がやってくるのです。わたしはそっと自分にささやきました。「わたしは飲まない。わたしは飲まない。」そのときです。社長

お酒の誘いは断っていたわたしですが、
今度は会社の社長から
ワインを差し出されました。

がわたしにワイングラスを差し出しました。どうすればよいか分かりませんでした。同僚実習生はわたしの方を見て、わたしがどうするか様子をうかがっていました。わたしは社長にほほえみかけ、こう言いました。「申し訳ありませんが、わたしは飲まないのです。」
がっかりしたのが分かりました。どうして飲まないのかと尋ねられました。「モルモンなんです」と答えました。

社長は言いました。「そんな宗教、聞いたことないな。食べ物みたいな名前だね。」皆、笑いました。

わたしもほほえみました。社長の冗談がおかしかったからではなく、自分のしたことは正しいと知っていたからです。

だれもわたしに二度とお酒を勧めませんでした。しかし、冷やかしかつ笑いは止まりませんでした。友人も例外ではありませんでした。わたしがうそをついているとか教会員がお酒を飲まないなんて考えられないとまで言う人もいました。その間、わたしは教会員に向けられる圧力を感じました。

その島に滞在したことで、学問的な意味だけでなく、霊的な意味で、たくさん^{みなま}の教訓を学びました。嘲笑がやむことはなくても、主の御霊は正しいことをするよういつも導いてくれることをわたしは学んだのです。■

筆者はフィリピン、メトロマニラ市に住んでいます。





七十人
アドリアン・
オチョア長老

肉体面、情緒面の健康と自信を
深めたいですか。

定期的な運動がその役に立ちます。

最近、わたしは運動に関する興味深い概念を読みました。そこには、朝早く起きて、運動服を着て、「わたしはこの運動服を着て、外へ散歩に出かけ、もし良い気持ちを感じたら、走り始めよう」と考えたら、きっと知らず知らずのうちに良い運動をしていると書かれていました。このような単純な計画を思い浮かべるだけで、良い運動の習慣を育み、健康管理をするのに役立つのです。多くの人々にとっては、始めることと継続することが最も難しいものです。運動が肉体だけでなく、心と頭脳にも祝福をもたらすということを思い起こせば、もっと肉体的に健康になりたいと望む人には役立つことでしょう。運動をすることによって、活力に満ちた人となり、力と自信、機敏性、安定性を感じることができるでしょう。

わたしは、自分の羽根をミミズと交換し始めた1羽の鳥の物語を覚えています。その方法を使って簡単にえさを手に入れることができたのです。羽根はたくさんあると鳥は考えました。羽根をミミズと交換しているうちに、鳥は早起きをしてミミズを探し回る必要がなくなったので喜びました。

強く、 健康で、 賢くあれ

一日中、巢に座っていることができたため、筋肉を動かす必要がまったくなくなりました。しかし、鳥はとうとう、そのような生活にすっかり慣れてしまい、気づいたときには、空を飛べなくなっていました。大切な羽根を全部失ってしまったからです。

これはだれであれ、悪い習慣、怠惰な日課、あるいは中毒性のある薬物使用のわなに陥った人には起こり得ることです。『若人の強さのために』にはこれらのことについて次のように書かれています。「あなたの肉体的、精神的、情緒的、霊的な健康を損ないます。家族や友人との関係を台なしにし、自尊心を弱めます。自分で選択する能力に制限を加えます。」¹ 体を動かし、正しい食生活を心がけることで、これらの悪い習慣を避けることができます。もし、鳥が飛んで餌を探し続けていたら、羽根を失うことはなかったでしょう。同様に、わたしたちが「羽ばたいて」定期的に運動するならば、わたしたちに危害を及ぼし、退化をもたらす傾向を避けることができるようになります。

肉体的健康面で苦しんでいる人がいるように、情緒的健康面で苦しんでいる人もいます。人生はつらいことがあり、不安、落胆、自尊心の欠如と

いった感情を抱くことがあります。しかし、忘れないでください。肉体的、情緒的どちらの健康にとっても、運動や勤労は、肯定的な物の見方を維持するのに役立ちます。肉体を管理することで、心も祝福され、自分が神の子供であることを思い起こしやすくなり、さらには自信を持ち、喜びを感じることができるようになるのです。情緒的、肉体的、霊的側面は、すべて関連し合っているのです。『若人の強さのために』は次のように教えています。「あなたの情緒的健康も大切です。それはあなたの霊的、肉体的健康に影響を及ぼすことがあります。失望や時折経験する悲しみは、この現世における生活の一部です。しかし、悲しみ、絶望感、不安あるいは落胆が長引く場合は、両親やビショップと相談し助けを求めてください。」²

わたしたちの周囲には、ほかの人よりも活力と喜びに満ちているように見える人がいるのはなぜでしょうか。おもな理由の一つは習慣です。わたしたちが霊的な観点からわたしたちの肉体を観察し、それが「神殿であり、神からの贈り物」であることを理解するなら、わたしたちはそれを愛し、神聖に保つでしょう。³

わたしにとって **神聖** という言葉は、清潔で、栄養が行き届き、強いという意味です。天の御父はわたしたちに知恵の言葉をお与えになりました。これはわたしたちが自分の肉体を神聖に保てるよう天の御父がお助けになる方法の一つです。『若人の強さのために』には、こう述べられています。「[知恵の言葉]を守るなら、有害な常習癖を避け、自制心を維持することができます。健康な体、機敏な精神、聖霊の導きなどの祝福も得られることでしょう。主に仕える備えをすることもできます。知恵の言葉を破ればもっと人に愛され幸福で魅力的になれるなどと、サタンやそのほかの人々によって思い込まれることのないようにしてください。」⁴ 知恵の言葉に従うときに、皆さんは自分の体と心の両方を

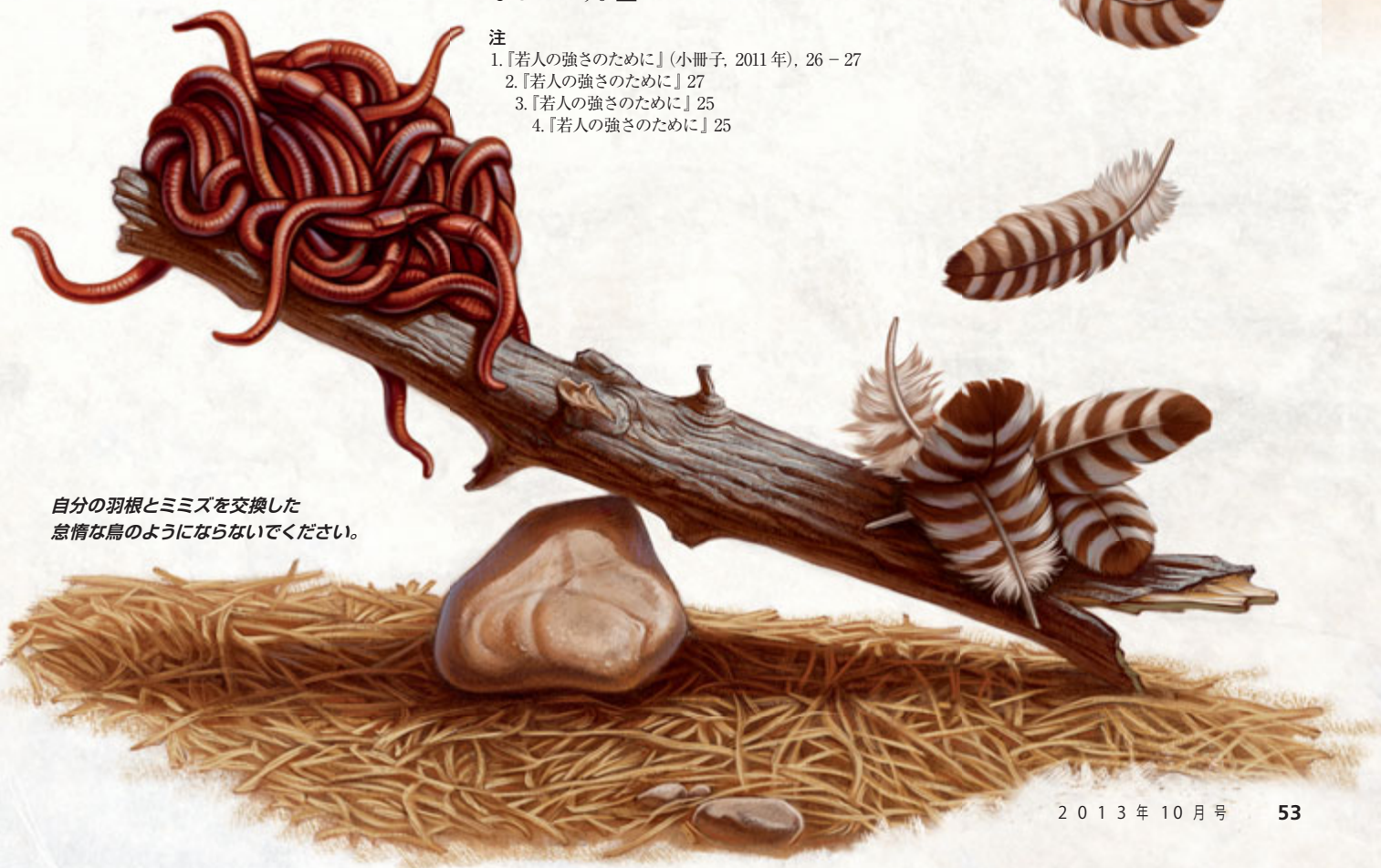
管理し、そうすることによって「知恵と、知識の大いなる宝……さえ見いだす」(教義と聖約 89:19) ということ覚えておいてください。

怠けて羽根を交換する鳥になるのではなく、テニスシューズを履き、体を動かしてください。絶えず運動をしてください。好きなスポーツクラブに登録してください。あるいは、一緒に走ったりそのほかのレクリエーション活動をしたりすることのできる友人を作ってください。運動は情緒的健康も強めてくれます。忘れないでください。最も大切なのは、どれほど速いか、どれほど運動神経が発達しているかではなく、どれほど継続できるかということです。定期的に運動するときに、皆さんはより幸福になるだけでなく、より強く、より健康的で、より賢くなるのです。■

注

1. 『若人の強さのために』(小冊子, 2011年), 26 - 27
2. 『若人の強さのために』27
3. 『若人の強さのために』25
4. 『若人の強さのために』25

自分の羽根とミミズを交換した怠惰な鳥にならないでください。





主の足跡に従う

救い主のようになることは、
段階を追って成し遂げられることであり、
生涯にわたって努力することです。
毎日の小さな歩みから始めることができます。

教会機関誌
メリッサ・ゼンテノ

聖文はわたしたちに、イエス・キリストのようになり、イエス・キリストが「歩かれたように……歩く」ことを勧めています（1ヨハネ2:6）。しかし、その第一歩を踏み出すのが難しいかもしれません。特に、始める方法が分からない場合はそうです。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』にその助けとなることが書かれています。それは専任宣教師のためだけに準備された手引きであると考えているかもしれませんが、実際はあなたが救い主のようになるという目標に向かって行動を起こすのに助けとなるすばらしい資料です。第6章には、9つの特別な、キリストのような特質を理解し応用するのに助けとなる事柄が挙げられています。

キリストのような特質を伸ばそうとするときに、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』と聖文をどのように活用できるか、以下に挙げるのはその活用法に関する幾つかの提案です。

- まず、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の第6章の終わりにある「特質を伸ばすための活動」のページを見てください



話し合いに参加する



10月中に、さらにキリストのようになる方法について学びます(ワードや支部にあなたの言語の新しいレッスン手引きがある場合)。この記事を読んだ後、よく祈って、今週または今月伸ばすように努力する特質の一つを選んでください。目標を設定し、その後、進歩状況を評価します(例えば、もっと愛情深くなったか、もっと従順になったか、もっと忍耐強くなったか)。さらにキリストのようになるという目標は、苦難を克服するのにどのように役立ったでしょうか。あなたの経験をほかの青少年や家族に話すといいでしょう。

(126 ページ)。この活動は、どの特質が現在のあなたの霊的な強さであり、またどの特質を伸ばす必要があるかを知る助けとなります。

- その活動を終えた後、よく祈って、集中すべき特質の一つを選んでください。また、第6章のその特質に関する項を読んでください。
- この特質を伸ばすのに役立つ、具体的で、測定可能な目標を設けてください。ある期間を定めて目標を達成するように努力してください。その後、進歩状況を評価してください。例えば、もっと愛情深くなるようにするのであれば、1週間毎日3回自分の兄弟姉妹について、前向きな言葉を口にするという目標を設定することができます。その週の終わりに、目標をどのように果たしたかを評価して、改善を続けるのに役立つ修正をします。
- 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』には、それぞれの特質について学ぶための聖句が挙げられています。祈りをもって聖句を研究し、読んだ

ときに受けた印象を書き留めるようにします。

- キリストのような特質を伸ばす助けを天の御父に求めてください。「きょうだいわたしの物を使ったときに怒らない強さをお与えください」など、具体的に助けを求めてください。祈りが具体的であればあるほど、主の答えに気づきやすくなります。

救い主イエス・キリストのようになることは、段階を追って成し遂げられることであり、生涯にわたって努力することです。時折、それは先進的物理学よりも難しく思われるかもしれません。しかし、がっかりしないでください。主は次のように約束してくださっています。「光を受け、神のうちにいつもいる者は、さらに光を受ける。そして、その光はますます輝きを増してついには真昼となる。」(教義と聖約 50:24) 光と真理を受け、学び、応用し、毎日神に従い続けるとき、さらに救い主イエス・キリストのようになれるという確信を持てるでしょう。■

毎日行うこと

小さな日々の行いが、救い主のようになる道に残される足跡です。キリストのような特質を伸ばす助けとなる、次のような活動も追加して行うとよいでしょう。

- あなたが伸ばそうとしている特質に関して、『聖句ガイド』に挙げられている聖句を読んでください。
- 変わりたいという望みと改善する力を、毎日祈り求めてください。
- 進歩状況を記録するために日記を書いてください。
- 親と話してください。助けをもらえるようにあなたの目標について知らせましょう。

「教会の標準に従って生活していない教会員がいるのはなぜかと会員でない人に尋ねられたら、何と答えればよいでしょうか。」

すべての教会員が完全に福音に従って生活しているとしたら、それは素晴らしいことです。そうすれば、生活の中でもっと祝福を得られるだけでなく、周りの人々にとって素晴らしい模範となります。しかし、わたしたちは死すべき状態であり、全員がある程度の失敗を犯します。福音に従って生活する人の熱心さに違いがある大きな理由は、それぞれ改心や証の強さの程度が異なることです。わたしたちはそれぞれ、受ける試練が異なり、助けを与えてくれる手段や人々も違います。

教会員でない人は「改心」や「証」などという言葉を理解できないかもしれませんが、一人一人が自分の生き方を選ぶということは理解しています。天の御父はそのように意図しておられたと、あなたは説明することができます。御父はわたしたちに選択の自由を与えて、わたしたちが善を選ぶことによって霊的に成長できるようにしてくださいました。しかし、天の御父は、イエス・キリストを除くすべての人が間違いを犯すということを御存じでした。そこで、わたしたちのために救い主を備えてくださいました。贖罪のおかげで、わたしたちは悔い改め、赦しを受け、自分の間違いから学び、この世で前進できるのです。

あなたは次のように説明することもできます。わたしたちは教会の標準に従っていない人々を裁きません。そうではなく、彼らを助け、理解し、彼らに忍耐するように努めます。わたしたちは罪を見ごしにしませんが、罪を犯した人を責めることはしません（ヨハネ 8：11 参照）。わたしたちは皆、これから先も悔い改めができます。

聖文を調べる



その質問に対する答えは聖典の中で見つけることができます。人々が戒めを守らないとき、わたしたちは性急に裁かないようにしなければなりません（マタイ 7：1 参照）。ローマ人への手紙第 3 章 23 節ではこう言われています。「すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなって [いる]。』しかしながら、ほんとうは、教会員は従順であるように努めるべきです。

マディソン・M, 13 歳
(アメリカ合衆国, テキサス州)

贖罪について教える



人がそのようなことを言う場合、規則に従っていない会員のあら探しをするよりも、わたしはそれを贖罪について教える機会とするようにしています。モルモンであるというだけで完全なわけではないこと、また罪を悔い改めてその過ちを修復できるように贖罪があることを話します。普通、こう言えば、もっとたくさん質問を受けるようになります。

ジェード・H, 16 歳
(アメリカ合衆国, オレゴン州)

教会は善を行うように教えている



ほかのすべての人と同じように、教会員もチャレンジや誘惑を経験します。わたしたちの全員に弱点がありますが、だからといって、この教会が真実でないということではありません。この教会はイエス・キリストの教会であり、真実の福音を知って昇栄を得られるように人々を助けています。戒めに従わない人は

生まれながらの人です(モーサヤ3:19参照)。それは教会の責任ではありません。教会は善いことをするようにわたしたちに教えています。しかし、わたしたちの全員に選びがあります。
ラビニア・S, 19歳(フィリピン, プラカン州)

標準はわたしたちの幸福のためにある



この質問は胸にこたえます。福音から離れる選びをした人を何人か知っているからです。主はわたしたちを幸せにし、また「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」ために戒めを与えてくださっています(モーセ1:39)。主はわたしたちに、御自分のもとに帰って来てほしいと思っておられます。しかし、わたしたちに自分で選ばせたいと思っておられるのです。教会の標準に従って生活しない人々がいるのはそのためです。標準はわたし個人にとっては助けになっています。なぜなら、わたしが天の御父のもとに帰って、御父とともに生活し、幸せになれるように、御父はわたしにそれを与えてくださったからです。それは天の御父がわたしを愛してくださっているという証拠です。

モルガン・D, 18歳
(フランス, ラングドック-ルシヨン)

その人のために祈り、訪問する

標準に従って生活していない会員は、イエス・キリストを中心とした証^{あかし}がないのかもしれませんが。彼らが御^み霊^{たま}の導きを求め、証を得られるように、わたしたちは彼らのために祈るべきです。その人々を訪問し、彼らがキリストのもとに来るように助けるべきです。

アンドレア・C, 13歳(ペルー, リマ)

模範となる



わたしたちが天の御父の戒めを果たす助けとして、また、再び天の御父とともに生活するために、この教会は不可欠です。しかし、教会に所属しているというだけで必ず善い人になれるということではありません。現在の世界を見てください。世界は前世でイエス・キリストに従うと決心した人々でいっぱいですが、悪事と忌まわしい行いで満ちています。わたしたちが行える最善のことは、友人たちに模範を示すことだと、わたしは思います。

ケイデン・S, 15歳(アメリカ合衆国, ユタ州)

わたしたちの標準に従って生活する



ほかのどんな組織や教派にも同じように、熱心な人と熱心でない人がいます。わたしたちは、ただわたしたちの標準に従って生活するように最善を尽くし、またほかの人々もそうするようにと期待し、祈らなければなりません。

マーレン・S, 16歳
(アメリカ合衆国, アリゾナ州)



人が将来 なり得る姿を見る

「人を見るとき、現在の姿ではなく、将来なれる姿を見る責任があるのです。周囲の人々について、どうかこのように考えるようお願いします。」

トーマス・S・モンソン大管長
「人が将来なり得る姿を見る」
『リアホナ』2012年11月号, 70

次回の質問

「わたしは思いをコントロールするように努めていますが、それでも多くの誘惑を受けます。どうすればもっと清い思いを持てるでしょうか。」

2013年11月15日必着で、ご意見をお聞かせください。よろしければ写真もお送りください。liahona@ldschurch.orgに投稿するか、本誌3ページに書かれている住所あてに郵送してください。

電子メールまたは手紙には、次の情報と許可文を必ず明記・同封してください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載を許可する、あなたの署名(18歳未満の場合は保護者の署名も必要です(電子メール可))。



七十人
C・スコット・
グロー長老

あなたの悔い改めを助けることは、
ビショップの召しに伴う
特別な務めです。

いつビショップに
話す必要があるかについては、
あなたの良心が教えてくれます。



重大な罪を犯したときに、ビショップか支部会長に告白するように教えられているのはなぜかと、不思議に思うかもしれません。自分自身にこう語りかけるかもしれません。「悔い改めはわたしと主との間の個人的な事柄ではないのか。自分の悪い行為をやめて、そのことを神に告白したのに、なぜビショップと話す必要があるのか」と。

なぜほかの人ではなく、ビショップなのでしょう

多くの青少年は親や青少年指導者に自分の間違いについて告白するとき、もっと安らかな気持ちになります。親と指導者は必要な支援と助言を与えることができますが、主が述べておられるように、ビショップはイスラエルの一般判士です(教義と聖約107:72, 74 参照)。ビショップにはワードの会員のふさわしさを判断する責任があります。聖任と義にかなった生活によって、ビショップは、あなたを含むワードの会員に関して聖霊から啓示を受ける資格を有しています。

ビショップは、親やほかの指導者が与えることのできない方法で、あなた

ビショップに告白する必要があるのはなぜでしょうか？

何について告白する必要があるありますか？

が悔い改めの過程を踏めるように助けることができます。その罪がひどく重大なものである場合、ビショップは、教会でのあなたの特権を制限しなければならないと判断するかもしれません。例えば、悔い改めの過程の一部として、ある期間、聖餐せいさんを受けることや神権を行使することを控えるように言われるかもしれません。ビショップはあなたとともに取り組み、再び神聖な働きを回復するのにふさわしいのはいつかを判断します。

ビショップは、誘惑に抗する力を強めるために何をなすべきかについて助

言を与えてくれます。悔い改めなど教義的なテーマを学習するように、そしてその後、あなたが学んだことを知らせるように、ビショップは勧めるかもしれません。毎週ビショップに会って、誘惑に陥った状況から抜け出すためにどうしているか、報告するようと言われるかもしれません。

いつビショップに話さなければならぬのでしょうか

あなたはこう考えているかもしれません。「それは分かったが、自分が行ったことはビショップに話す必要が

あるほど重大なことかどうか、どうすれば分かるのだろうか。」その答えは簡単です。「あなたの良心が教えてくれます。」良心の痛みを感じたら、直ちに行動してください(アルマ 34:31-34 参照)。

悔い改めに関して、ベニヤミン王はこう教えています。「あなたがたが罪を犯すもとなることをすべて告げることはできない。その方法や手段はいろいろあって、数え上げられないほど多いからである。」(モーサヤ 4:29)。したがって、ビショップに告白しなければならない事柄の詳細なリストを提供するよりも、それを判断するのに助けとなる原則を幾つか紹介しましょう。

何について告白する必要がありますか

あなたが従順になろうと努めてきたことは分かります。しかし、あなたは幾つかの間違いを、しかも幾つかの重大な間違いさえ犯してきたかもしれません。人が犯す間違いのほとんどは個人の祈りと心からの悔い改めで解決できます。しかし、ある種の間違い、特に不道徳に関する間違いは、主の赦しを受ける前に、ビショップに告白する必要があります。

自分が犯した間違いについて考えるとき、罪悪感や心の動揺、悲しみ、さらには惨めな気持ちさえ感じるかもしれません。このような気持ちをどれか感じているとしたら、恐らくそれらの間違いについてビショップに話す必要があります。

言い訳をしたり、自分の方法を合理化したりしないでください。あなたはこう考えているかもしれません。「自分が行ったことをビショップに話すのはあまりにも恥ずかしい。彼はわたしのことをもっと立派な人間だと思っている。自分が行ったことを聞いたら

ショックを受けるだろう。嫌われるかもしれない。」

わたしは約束します。ビショップはあなたを責めないでしょう。主の僕として話を聞くと、思いやりと理解を示すでしょう。その後、悔い改めの過程を通じて助けしてくれるでしょう。ビショップは、イエス・キリストの贖罪により清くなれるように助ける、主の憐れみをもたらず使者なのです。

主はこう述べておられます。「見よ、自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。」

人が罪を悔い改めたかどうかは、これによって分かる。すなわち、見よ、彼はそれを告白し、そしてそれを捨てる。」(教義と聖約 58:42-43)

罪を告白して捨てる時、主は赦してくださいませ。裁きを受ける時が来たとき、罪について主に説明する必要はありません。

告白しなければどうなりますか

時々、人は悪いことを行うのをやめますが、告白が必要ときに、ビショップにまったく告白をしようとしなないことがあります。その結果、その人は、救い主に重荷を取り除いていただく代わりに、独りで罪の重荷を背負い続けるのです。

一例を紹介しましょう。数年前のある夕方、わたしは神殿推薦状の更新のために成人の会員たちを面接していました。一人の中年の女性が面接のために部屋に入ってきました。神殿で結婚しており、生涯ずっと教会で活発な人でした。

わたしは彼女の心に深い悲しみがあるのを感じました。面接が進む中で、わたしは御霊によってある気持ちを感じ、こう言いました。「姉妹、わた

しは、あなたが10代のときに重大な間違いを犯して、それをまだ神権指導者に告白していないと感じています。よろしければ、それについてわたしに話していただけますか。」

その途端に彼女は泣き始めました。そして、それは事実で、ビショップにそれを告白するのはとても恥ずかしいといつも感じてきたと言いました。自分が行ったことを告白し、わたしが彼女のふさわしさを判断できるように、細かい点まで十分に話してくれました。

神権指導者への彼女の罪の告白は、悔い改めの過程の始まりではなく、むしろ終わりでした。彼女は30年以上の間、その罪の重荷と悲しみを不必要に背負ってきたのです。

悔い改めの最後の段階を終えたことで、罪は取り除かれました。その面接の夜以後、わたしは時折彼女に会いました。顔は明るくなり、幸せでした。

わたしは彼女の名前を覚えていないということを知ってもらいたいと思います。主は、そのような記憶をビショップから取り去ることがおできになります。わたしが覚えているのは、神権指導者への告白を通じて、一人の中年の女性が何年もの長い間背負ってきた罪悪感を取り除かれたということです。

どうかそのような間違いを犯さないようにしてください。罪悪感がありながら、ビショップに告白する必要があるかどうか定かでなければ、ビショップに会いに行ってください。生涯にわたって不必要な重荷を背負い、惨めな気持ちのままにいるという危険に陥らないようにしてください。ビショップへの告白と悔い改めによって、主は重荷を取り去ってくださいます(イザヤ 1:18 参照)。



悔い改めが必要なのはなぜでしょうか

イエス・キリストは贖いの犠牲に^{あがな}よって、全人類の罪の代価を払われました。悔い改めて、それ以上の悲しみと苦しみを負わないように、イエス・キリストは勧めておられます。「つらい苦しみを被ることのないように、悔い改めなさい。これらの苦しみがいかにつらいか、あなたは知らない。いかに激しいか、あなたは知らない。まことに、いかに堪え難いか、あなたは知らない。

見よ、神であるわたしは、すべての人に代わってこれらの苦しみを負い、人々が悔い改めるならば苦しみを受けることのないようにした。

しかし、もしも悔い改めなければ、彼らはわたしが苦しんだように必ず苦しむであろう。……

それゆえ、わたしは再びあなたに命じる。悔い改めなさい。……また、あなたの罪を告白しなさい。そうしなければ、あなたはわたしが語ったこれら

の罰を受けて苦しむであろう。」(教義と聖約 19:15 - 17, 20)

わたしは証^{あかし}します。イエス・キリストは苦しみを受けることによって、すでにあなたの罪のために代価を払^{ゆる}っておられます。悔い改めるなら、赦しを得ることができます。自分の罪のために代価を払おうとしないでください。あなた自身の苦しみの量では、贖われません。贖罪によってのみ、赦しを受けるのです。

あなたがイエス・キリストとその贖罪を信じる信仰を行使できますように。わたしはイエス・キリストの御名^{みな}によって証^{あかし}します。必要なときにビショップに告白することを含め、悔い改めを通して清くなります。さらに、救い主の恵み、すなわち主の有効な力によって、将来の誘惑に抗する力を強くすることができます。こうして、現世で心の平安と幸福^{きた}を得、来るべき世で永遠の命を受け継ぐことでしょう。■



わたしたちの偉大な医者

「救い主はしばしば偉大な医者と呼ばれています……。……

霊に対する罪の影響は肉体に対する苦痛の影響と似ています。つまり、罪悪感^{いさ}は危険から身を守る警告となり、それ以上傷口を広げないようにする守りとなります。救い主の贖いから、霊的な傷を癒し、罪悪感を取り除くことができる癒^いしの膏薬^{こうやく}がもたらされます。しかし、この薬は主イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、一貫した従順の原則に従うことによってのみ与えられるのです。心から悔い改めるならば、その結果として良心の平安、慰め、霊的な癒し、再生を受けることができます。

皆さんのビショップや支部会長は、悔い改めと癒しを助ける権能を持つ霊的な医者の助手です。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老
「わたしたちは純潔を信じる」
『リアホナ』2013年5月号, 44



しちじゅうにん
七十人

O・ビンセント・
ハレック長老

救い主を 招き入れる

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。
だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいて
彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」(黙示3:20)

幼いころ、クリスマスの時期になると、母は救い主がとびらをたたいておられる絵を壁にかけました。そのときわたしたちはまだ教会員ではなかったのですが、わたしはいつも「イエスさまはなぜとびらをたたいているの？ とびらの反対側にはだれがいるの？」と聞いていました。
数年後、救い主がたたいておられる側のとびらに取っ手がついていないことに気づきました。とびらの内側にいる人が、とびらを開ける必要があったのです。今は、とびらの反対側にだれがいるのか知っています。それはわたしたちです！ たたいておられる主にこたえて、わたしたちは皆、とびらを開けて自分の生活に主を招き入れなければならぬのです。
10代のころ、わたしはバプテスマを受けて教会員になることによって、救い主を自分の生活に

招き入れる決心をしました。友人たちがわたしにとって良い模範でした。祖母もそうでした。祖母はカリフォルニア州ロサンゼルス神殿の神殿奉仕者でした。神殿で主に仕えるために朝の4時に家を出ていました。

バプテスマを受けてからちょうど2年後、わたしは専任宣教師として主に仕えたいと思いました。伝道中にわたしは、多くの人が救い主について学び、自分の人生に主を招き入れることができるように助けました。

後にわたしは、サモアで伝道部長として奉仕しました。わたしはいつも新しい宣教師に、伝道に出ようと決心したのはいつか尋ねました。多くの宣教師が、初等協会のときに決心したと答えました！

初等協会は、皆さんが伝道に備えるのを助けてくれます。できるだけたくさんのことを学んでください。伝道に出るための目標を立ててください。そうすれば、人々が自分の生活に救い主を招き入れることができるように、あなたも助けることができるでしょう。宣教師になることによって、皆さんの人生は変わります。わたしの人生は変わりました。■



ぴかぴかの執事

聖餐のパスは、大きな責任です。もし失敗したらどうになってしまうのでしょうか。

ジェーン・マクブライド・チョート

実話をもとに書かれました。

「主は言う。
この神権を受けるすべての者は、
わたしを受け入れるのである。」
(教義と聖約 84 : 35)

ベンジーは鏡の前に立って、ネクタイを直しました。白いワイシャツとこんいろのズボンは、ちょうどよいサイズでした。かみの毛もかしてありました。ベンジーが執事にめされる準備は完璧に見えました。それなのになぜ、ベンジーはそんなに緊張していたのでしょうか。

ベンジーは聖典をつかむと部屋を出ました。今日の教会がいつもとどうちがうかは、考えないようにしました。でも、新しい神権の責任のことを思い出すたびに、心配になってきます。その責任とは、聖餐のパスでした。来週、初めてやるときに間ちがったらどうしようと思いました。家を出るとき、そのことも忘れようとした。

聖餐会はいつもと同じでした。でもその後、ベンジーは家族と一緒にサラザールビショップの部屋に行きました。これは絶対にいつもとちがいました。普通なら初等協会の開会行事をしている時間でした。

ベンジーがすわると、お父さん、ビショップ、若い男性会長、ビショップリック顧問の兄弟たちがベンジーの



1年生



「執事の……みなさんは、めしを尊んで大いなるものとするならば、若い今でも、神のみ手に使われる者となるでしょう。なぜなら、若者が持つ神権は義にかなって行使されるとき、大人が持つ神権と同じように力強いからです。」

七十人会長会 タッド・R・カリスター長老
「若者が持つ神権の力」『リアホナ』2013年5月号, 54

頭の上に手を置いて、お父さんがアロン神権をさずけてくれました。祝福を受けていると、おなかの中で感じていたはらはらした気持ちがなくなり、平安で幸せな気持ちを感じました。

ベンジーは立ち上がり、全員と握手しました。それから、お母さんとお兄ちゃんのジェイ、そして妹のミラソルをだきしめました。

その後、ベンジーは日曜学校に行きました。新しいクラスは初等協会とはちがっていましたが、身近に感じました。レッスンはいのにってでした。初等協会でもいのにってではなくさんのレッスンを受けてきました。ベンジーはほっとして、ため息をつきました。たぶん執事になるのは、そんなに大変なことではないのかもしれないと思いました。

「すごいよ。」教会が終わった後に、お兄さんのジェイがベンジーに言いました。「ぼくが聖餐を祝福して、ベンジーがパスできるじゃないか。」

急にはらはらした気持ちもどってきました。「そうだね、すごいね」と、小声で答えました。聖餐のパスは、ベンジーがいちばん心配していたことだったので。

その晩おそくに、ベンジーはソファで本を読んでいるお父さんに聞

きました。「もしぼくが気づかないでいて、聖餐を受けられない人がいたらどうしよう。」「もし転んだらどうしよう。」ベンジーの心の中に、トレイがゆかに落ち、水の入ったカップがあちこちに飛び散る様子をはっきりと思うかびました。

お父さんがベンジーのかたをぎゅつとつかんで言いました。「お父さんが初めて聖餐をパスしたときのことを覚えてるよ。たぶん、今のベンジーよりずっと緊張していたな。」

ベンジーはびっくりして目をぱちぱちさせました。「お父さんが？ だって、お父さんにはこわいものなんて何もないでしょ？」

お父さんは笑って言いました。「お父さんにだってこわいことはたくさんあるさ。緊張したとき、お父さんがどうやって乗りこえたか分かるかい？」

ベンジーは少し考えてから言いました。「おいのり？」

お父さんにはっこりして言いました。「そうだよ。そして、お父さんから祝福してもらったんだ。ベンジーも祝福してもらいたいかい？」

ベンジーはすぐにうなずき、「うん、すぐしてほしい！」と答えました。

家族全員が居間に集まりました。お父さんがベンジーの頭に手を置いて、祝福し始めると、ベンジーはなみだ

があふれてくるのを感じました。お父さんは祝福の中で言いました。「神聖な儀式を通して、あなたが神権を受けたことを覚えていてください。わたしたちが人々に仕えることができるように、天のお父様は神権をおあたえになりました。心をこめて人々に仕えることができるなら、このことについても、すべてのことについても、祝福を受けるでしょう。」

その週の間ずっと、ベンジーは助けを求めているのりりました。次の日曜日、礼拝堂の前の方に、執事のみなどと一緒に並びました。ジェイがパンを祝福するときに、よく耳をかたむけました。

突然、また不安な気持ちでいっぱいになりました。ほんとうにパスできるのでしょうか。それはすごく大切なことです。そのとき、お父さんの祝福にあった約束を思い出しました。みたまに包まれ、不安な気持ちは消え去りました。

ベンジーは聖餐のトレイを手に取ると、割り当てられた列を堂々と進みました。注意しながら、最初の列の女性性にトレイをわたしました。

女の人がベンジーにむかってほほえみました。ベンジーは自分が主に仕えていることを確信しながら、ほほえみ返しました。■

ウィンター・クォーターズに とどまる

★
ウィンター・クォーターズ

アイオワ・トレイル

アイオワ州

ノーブー

ジェニファー・マディー

新しい町

預言者ジョセフ・スミスが殺された後、イリノイ州ノーブーは危険な場所になりました。聖徒たちは、安全に住める場所を見つけるために、自分たちの家を後にしました。1846年2月、聖徒の最初の団が西部への旅を始めましたが、悪天候と病気のために、なかなか先に進むことができませんでした。アイオワ州を過ぎたころには、冬の前にロッキー山脈をこえることが難しくなっていました。そこで教会指導者は、聖徒たちが冬をこせる場所を選び、ウィンター・クォーターズと名付けました。

ウィンター・クォーターズのモルモン・トレイル・センターにあるこの展示物は、ウィリアム・クレイトンが「恐れず、来たれ聖徒」(『賛美歌』17番)の賛美歌を書いた、アイオワ・トレイルにある野営キャンプの場面を再現したものです。





ともに働く

丸太やしば土で家を建てた人もいれば、テントやほら穴で暮らした人もいました。長く、寒い冬の間、聖徒たちは幸せに暮らそうと努力し、たがいに助け合いました。演奏会に行ったり、歌ったりおどったりしました。小麦の製粉所や市役所、かごを作る工場を建てました。

前進する

聖徒たちは、ウィンター・クォーターズで困難な日々を過ごしました。多くの人がなくなりました。しかし、開拓者たちは主が自分たちを祝福してくださり、シオンにたどり着けるように助けてくださるという信仰を持っていました。ようやく春がおとずれ、最初の開拓者の一団がソルトレーク盆地を目指して、ウィンター・クォーターズを出発しました。

今日、美しいネブラスカ州ウィンター・クォーターズ神殿を見ることができます。

また、ウィンター・クォーターズにある、モルモン・トレイル・センターでは、開拓者についてさらに多くのことを学ぶことができます。■



モルモン・トレイル・センターでは、聖徒たちが西部への旅に持って行った様々な物を見ることができます。教会指導者は、小麦、香辛料、米、豆、乳牛を連れて行くように言いました。



ウィンター・クォーターズにいる間、丸太小屋を建てて住んだ人もいました。

ウィンター・クォーターズにとどまる^{せいと}聖徒たち

アリー・バン・デ・グラーフ

開拓者たちは西部への旅を続ける前に、冬の間ウィンター・クォーターズにとどまりました。絵の中にかくれている物をさがしてみましょう。



えんぴつ



ひとき
一切れのパイ



なべ



スプーン



フライ返し



ほん
本



レンチ



カップ



ナシ



ばんそうこう



ボーリングのピン



ニンジン



あめ



はり
針



とけい
時計

とく べつ な しょう にん
特別な証人



イエス・キリストは 預言者に どのように話されるのでしょうか

じゅうに しとていんかい
十二使徒定員会

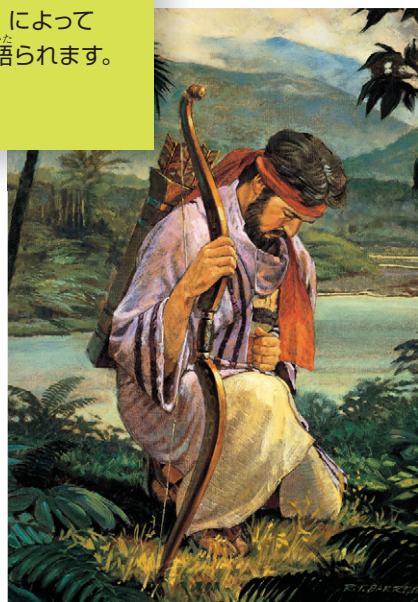
D・トッド・
クリストファーソン長老

じゅうに しとていんかい かいいん
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
特別な証人です。

ししゃ
使者をつかわされたり、
ご自身で御姿を現されたりします。



ご自身の声により、
あるいは
聖なるみたまの声
によって
語られます。



ご自分のしもべ一人一人に語られたり、
しもべたちが話し合っているときに
語られたりします。



「[キリストの教義]
『リアホナ』2012年5月号, 86 - 90 から

「[キリストの教義]」の複製を許可されたジョージ・H・スミス・ケネス・ラッセル・ウィリアム・ニコルソン・バレット・パレット © 2012 聖書出版局

いまでエマは、
バイオレットからあんなに
意地悪されたのに、
どうやって親切にできる
というのでしょうか。

バイオレッツ

シャーロット・メイ・シェパード
じつわ 笑話をもとに書かれました。

「自分を愛するように
あなたとなり人を愛せよ。」
(マルコ 12:31)

エマはリュックをにぎりしめながら、新しい教室に入ってきました。学校で最初の登校日で、お気に入りのワンピースを着ていました。お母さんは特別なおやつに動物クラッカーを持たせてくれました。

「今日はきっとすてきな日になるわ。」エマはそう思いました。「ただし……」エマは足を止めて教室の向こうを見ました。いました。バイオレットです。去年、バイオレットは休み時間のたびにうんていを独りじめし、エマの悪口を言い、エマの親友までうばったのです！

バイオレットはエマを見ると、舌を出しました。エマは、リュックをさらに強くにぎりしめて、にらみ返しました。バイオレットは去年1年間ずっとエマに意地悪をし続けました。今年も同じことが続きそうでした。

「みなさん、新しい学年へようこそ。」コールドウェル先生は教室の前のほうから言いました。「席を決めましょう。」教室には机が2個ずつ並べられていました。コールドウェル先生は、出席簿の名前を上から指でなぞっていき、それから後ろの方にある1組の机を指さして言いました。「エマ、あなたはその後ろの席にすわってね。」

エマは教室の後ろにあった席の一つにすわりました。「となりにリゼルが来るといいな。それかジェイミー、それとも……」と考えていました。

「バイオレット。」エマはサッと頭を上げました。聞き間違いではないでしょうか。

いいえ。コールドウェル先生はまだエマのとなりの席を指さしながら、こう言いました。「あなたはエマのおとなりさんよ、バイオレット。」

バイオレットはしかめっつらをしながら、重い足取りでエマの方に歩いて行きました。エマは頭を机にのせ、かべを見つめました。長い1年になりそうでした。

算数の時間に、コールドウェル先生は黒板に練習問題を書き、こう言いました。「独りでやってもいいし、となりの人と協力してもいいですよ。」

エマはあわてて紙におおいかぶさるようになり、いそがしく問題を解いているふりをしました。問題はかなり簡単だったので、ただバイオレットをさげょうとしていたのです。午前中、一度もバイオレットの方を見ませんでした。

何かがエマのかたをつつきました。鉛筆のようでしたが、エマは無視しました。

またつつかれました。バイオレットがエマをつついてたのです。エマは頑固に問題を解き続けました。

3回目はバイオレットが強かつついてきたので、痛いくらいでした。エマははらがにえくり返るのを感じました。この1年ずっとこんなことが続くのでしょうか。手をあげて、コールドウェル先生に言いつけようと思いました。それとも、ただバイオレットをにらみつけようかとも考えました。

そのとき、エマの耳にすすり泣く声が聞こえたのです。だれかが泣いている



トを助ける

のでしょうか。また鉛筆でつかれました。ふり返ってみるとバイオレットがこちらをじっと見えています。手に鉛筆を持ち、目にはなみだをためていました。問題用紙は消しゴムで消したあとがたくさんありました。

バイオレットは鉛筆に両手をからませながら、小さな声で「助けてくれる?」と言いました。

エマはバイオレットをちらっと見て、びっくりしました。バイオレットがわたしに助けてほしいですって? あんなにいつも意地悪した後で? エマはまた自分の問題用紙に目を向けました。バイオレットは独りでできるはずです。エマの助けを受ける資格はありませんでした。たとえ……

……隣人だとしても?

エマは静かに前を向きました。バイオレットがとなりでしくしく泣いているのが聞こえました。聖文にはいつも隣人を愛するようにと書いてありますが、バイオレットはちがいました。エマは教室でバイオレットのとなりにすわっていただけなのです。

エマはまた問題に取りかかり、それから手を止めました。多分、バイオレットもみんなと同じかもしれません。もしかしたら、聖文に書かれている、あなたの隣人を愛しなさいという言葉は、すべての人を指しているのかもしれませんが、たとえ意地悪な人でも、難しいことでも。

エマはため息をつくつと、ゆっくりと鉛筆をおきました。バイオレットの方を向いて、

精いっぱい笑顔で「助けてあげようか?」と聞きました。

バイオレットは、手でなみだをぬぐいながら、うなずきました。

エマは体を乗り出してバイオレットの問題用紙を見ると、最初の問題を解く手伝いを始めました。そのときにはすでに、心の中に温かい気持ちがありました。バイオレットは動物クラッカーが好きかな、とエマは思いました。■



イエスに従う

イエスはわたしたちに、すべての人を愛するように望んでおられます。聖文では、イエスはわたしたちに家族や友達を愛し、親切にするように教えておられます。イエスはまた、次のようにもお教になりました。「敵を愛し、迫害するものためにいのれ。」(マタイ5:44) これは、だれかからやさしくされなくても、自分はその人に親切にして友達になろうとすることによって、イエスに従うことができるという意味です。

イラスト/ラッド・テア。「聖イェス・キリスト」デル・ハイソン © 田





わたしは かみのすべての 子どもたちと ふくいんを 分かち合います

右 時計回りに左上から—イラスト/ジム・マドセン、ジェレド・ベックストランド
エリック・バークレー、セラ・スミス
左—イラスト/マーク・ジャーマン

カードで分かち合う

パスアロング・カードを わたすことで ふくいんを わかちあうことができます。つぎのページの カードを あつ紙に はってください。それを 切って、うらがわに あなたのメッセージを 書きましょう。

歌と せいく

- 「ニーファイのように」
『子供の 歌集』92-93
- マタイ5:16

話し合いましょう

かぞく ぜんいんに すきな くだものの 絵を 書いてもらいましょう。その 絵の うらに ふくいんによって 自分の 生活で どんな しゅくふくが あたえられているかを 書いてもらいます。友だちや きんじよの人と どのように ふくいんを わかちあえるかについて 話し合ってください。

何かとてもおいしいものを食べて、みんなに分けてあげたいと思ったことはありませんか？ よげんしゃ リーハイはあるときおいしいみを食べたゆめを見ました。あまりにおいしかったので「心はひじょうに大きなよろこびにみたまされ」ました。(1ニーファイ8:12) リーハイはそのおいしいみをかぞくにも食べてほしいと思いました。

リーハイのゆめにでてくるみは、天のお父さまのあいをあらわしています。リーハイはかぞくにも天のお父さまのあいをかんじてほしいと思いました。ふくいんによってかぞくがしあわせになるとわかっていたので、かぞくと分かち合いたいと思ったのです。

子どもたちは多くのばあい、人人にふくいんを分かち合うのがとても上手です。

8才のマリアはエクアドルの通りでせんきょうしを見かけました。マリアはせんきょうしにふくいんを教えてくださいようにおねがいしました。せんきょうしはマリアの家にきて、かぞくにふくいんを教えてくださいました。マリアはかぞくの中でさいしよにバプテスマを受けました。ようやくかぞくのみんなが教会に入ったとき、マリアはとてもしあわせでした。

9才のエリックは初等協会のせいさん会のほっぴょうがとても楽しかったです。きんじよの人人をさそいました。みんな来てくれました。

マリアもエリックも、大すきな人人と大切なものを分かち合いました。みなさんがふくいんを分かち合うとき、みなさんのあかしは強くなります。リーハイのように、「ひじょうに大きなよろこび」をかんじることができるでしょう。■

「おそれてはならない。
わたしはあなたとともに[いる]。』

創世 26:24



「へい^だわ^{ひと}をつくり出す人たちは、
さいわいである[。]』

マタイ 5:9



「たがいになさげぶかく、
あわれみぶかい
ものとなり、……
たがいに
ゆるし^あいなさい。』

エペソ 4:32



「すべてのことについて、
かんしゃしなさい。』

1テサロニケ 5:18





ニューヨーク市に すむ カミール

9 才の カミールには、
友だちが たくさん
います。「友だちにつ
いて とても 大すきなことは、
みんな それぞれ ちがっている
ことです」と カミールは 言い
ます。みんな ちがう ところ
から 来ていて いろいろ
な ことの やり方も
ちがいます。カミールは
友だちから よいことを
学ぶのが 大すきです。
それから 友だちと 分か
ち合うことも すきです。
友だちと 今まで 分か
ち合った中で いちばん
よかったことは、ふくいんです。

友だちの ヤイリンに 信仰箇条
の だい1じょうを 教えてあげ
た後、カミールは ヤイリンの
かぞくに せんきょうしと 会って
みるように すすめました。カミ
ールは ヤイリンに おいのりの
し方も 教えてあげました。今
では、ヤイリンと お母さんは、教
会いんです。

友だちの ヤイリンは、
2011年に バプテスマを うけました。
いっしょに 教会に 行けるのが、
とても うれしいです。

わたしは ヤイリンが 信仰箇条を
おぼえられるように たすけています。
今 いっしょに 9じょうを
おぼえようと しています。

わたしの 大すきな 歌は、「神の子
です」と「家族は 永遠に」です。わたし
の大すきな せいくは 教義と 聖約
19じょう 23せつです。「わたしに
学び、わたしの ことばを ききな
さい。わたしの みたまの にゅうわな
道を 歩みなさい。そうすれば、あなた
は わたしによって へいあんを える
であろう。」かなしいとき この せい
くは、いつも わたしを はげまして
くれます。



わたしの お母さんと お父さんは、
ドミニカ きょうわこくの しゅっしんです。
だから わたしは お米と まめと チキンの
りょうりが 大すぎなのかも しれません。
その りょうりは わたしの かぞくが
どこから 来たのかを 思い出させて くれます。



わたしの かぞくは 5人です。
妹の エミリーは 12月に バプテスマと かくにんの ぎしきを うけます。
弟の ビクターは お父さんの 名前に ちなんだ 名前を もらいました。
ペットは いませんが、カメを かおうと 思っています。
カメは かわいいし、ゆっくり 歩くから
にげないので すきです。



わたしは モルモン書の しれいかん、モロナイのお話が
大すぎです。お父さんは、その お話を かていの タペで
読んでくれました。その 話を 聞いて、自分の はたを
作ることを 思いつきました。はたを 見るとき、自分が
だれであるか、そして 天の お父さまは いつも わたしと
いっしょに いてくださることを 思い出します。

わたしたちの ページ



ぼくの りょうしんは、ぼくが 小さいときから ぶくいんを 教えてくれて、よい もはんを しめして きています。ぼくは 子どもの ための せいてん の ものがたりを 読めるようになりました。今は モルモン書を 読むのが 大すきです。毎日 自分でも、かぞくでも、モルモン書を 読みます。モルモン書 の 中で すきなのは アンモンです。アンモンは すばらしい せんきょうでした。ぼくも 大きくなったら、アンモンのように すばらしい せんきょうし になりたいです。

エステバン・M, 8才 (コロンビア)



休みのとき かぞくみんなで お母さんが 生まれた パナマに 行ったとき、お父さんと お母さんは、妹の ヨアリベスと ぼくを パナマ・パナマシティーしんでんに つれて 行って くれました。お母さんは ぼくたちに しんでんのかべに さわらせて くれました。しんでんに 行ったとき ぼくが どんなに うれしい 気持ちを かんじたか 後で お母さんに 話すと、お母さんは ぼくが かんじたのは せいれいだよ、と 教えてくれました。

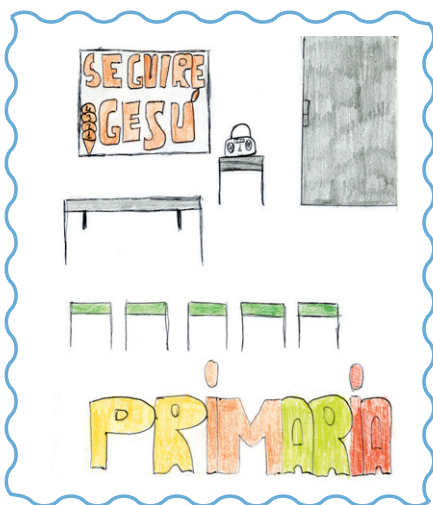
セルジオ・B・ジュニア, 7才 (アメリカ・フロリダしゅう)



パーシャ・Z, 9才 (ウクライナ)



レティシア・C (6才)が 3才のとき、ブラジル・クリティーバしんでんが かんせいしました。レティシアは しんでんに 行くのが 大すきで、オープンハウスの さいごの 週は 毎日 行きました。今も しんでんに 行って、きれいな にわを さんぽするのが 大すきです。レティシアは、絵を かくことと、およぐ ことも 大すきです。



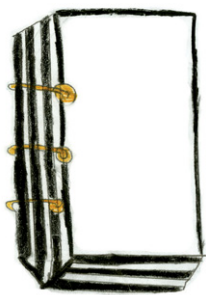
初等協会——イエスに したかう

イタリアに住んでいる 11 才の マウリジオ・D は、天のお父様とイエス・キリストについて 学べる 聖餐会が大好きです。マウリジオは、教会に行く のが好きです。楽しいし、おもしろいし、教会が とてもきれいだからです。教会に いると 幸せな 気持ちになります。友達もたくさんいます。



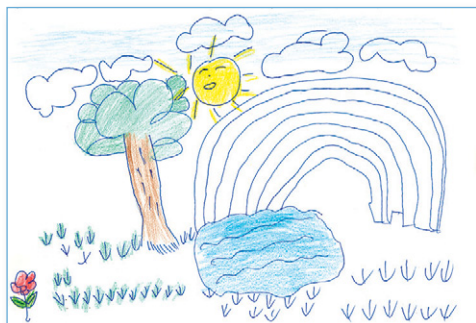
メキシコ・テファナしんでんの くわ入れしきの じゅんぴを しているとき、ぼくたちは とても しあわせでした。かぞくで ほうしに 行きました。しんでんの しきちを そう じしました。しんでんが かんせいしたら しゅの家である しんでんに しゅが 来られることを 知っています。

ヘース・S, 6才 (メキシコ)



Bảng Khắc
Bảng Vàng

聖典を勉強すると、正義を選べるようになります。
「金版」チュエット・ホア、10才（カンボジア）



天のお父さまと イエス・キリストに したかうとき、
わたしは せいぎを えらびます。
N・サイ・リンダ、8才（カンボジア）



モルモン書の中で好きなのは、ニーファイ
と海をこえる旅の物語です。
ケリー・C、10才（フィリピン）

かぞくとして えいえんに くらすため
に、わたしたちは しんでんで むすびか
ための ぎしきを うける ひつようが
あります。
シャナ・C、8才（フィリピン）



ぼくは かぞくと 教会に行っ
て、イエス・キリストについて
学ぶのが すきです。家で かて
いの 夕べを するとき、ぼくは
せいびんの ものがたりを 読ん
だり 学んだり、歌を 歌ったり、
ゲームを したりするのが すき
です。ふくいんは、ぼくの かぞ
くを しゆくふくしてくれて、ぼく
を しあわせに してくれます。
ぼくは 今までに 3人の 学校
の 先生と 親友の ミゲールに
モルモン書を プレゼント しま
した。ぼくの すきな さんびかは
「ニーファイのように」(子供の
歌集] 92) です。
マーティン・P、6才（ポルトガル）

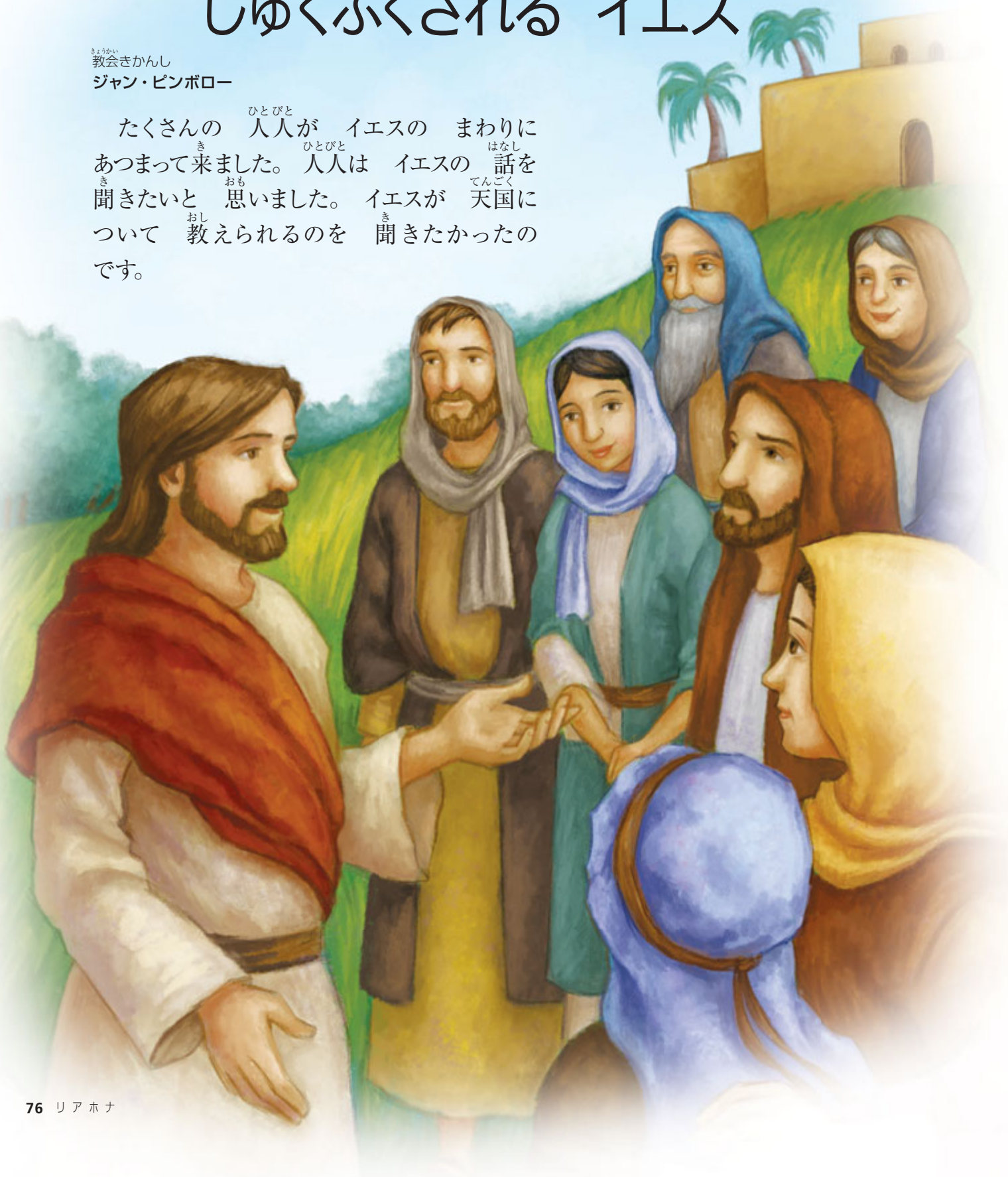


エンヒーケ・S、7才（ブラジル）

おさない 子どもたちを しゅくふくされる イエス

きょうかい
教会きかんし
ジャン・ピンボロー

たくさんの ^{ひとびと} 人人が イエスの まわりに
あつま^きって来ました。人人は ^{ひとびと} イエスの ^{はなし} 話を
聞^ききたいと ^{おも} 思いました。イエスが ^{てんごく} 天国に
ついで ^{おし} 教えられるのを ^き 聞きたかったの
です。





ひとひと
 人人が びょうきになると、イエス
 が いやしていただきました。目が
 見え^みない 人^{ひと}や 耳^{みみ}が 聞こ^きえない
 人^{ひと}を いやされました。



ある日、^ひ 人人は ^{ひとひと} おさない ^こ 子どもたちを イエスに ^あ 会わせるために つれて来^きました。
 イエスに しゆくふくしていただきたいと ^{おも} 思ったからです。イエスの ^{ひとひと} でしたちは、人人に
 イエスの ^{じかん} じゃまを しないように ^い 言いました。イエスは いそがしすぎて そのような
 時間^{じかん}はないと ^{おも} でしたちは 思ったのです。

でも そうではありま
せんでした。 イエスは
でしたちに ^こ子どもたちを
自分^{じぶん}の ^{ところ}につれ
て来るように ^い言われま
した。 天^{てん}の ^{おうこく}王国は、
おさない ^こ子どもたちの
ような ^{ひとびと}人人の ^{もの}のだ
と ^い言われました。



イエスは ^こすべての ^こ子どもたちを ^{あい}あいて ^おられます。 ^{みな}みなさんが ^どどんな ^{ひと}人で、
^どどのような ^すすがたで、 ^どどこに ^すすんでいるかは ^{かん}かんけい ^ありません。 イエスは ^{みな}みなさん
を ^{あい}あいて ^おられます！

マルコ 10 : 13 - 16 より。

色をぬりましょう



おさない どもたちを しゆくふくされる イエス

「そして かれらを だき、手を その^{うえ}に おいて しゆくふくされた。」(マルコ 10:16)

わたしは 誓います……

教会機関誌

R・バル・ジョンソン

母の顔に浮かんだショック、動揺、落胆の表情を見て、わたしの心は悲しみに沈みました。母の目には様々な感情が次々に現れ、やがて「裏切られた」という思いになっていくのが見て取れました。

これまでの15年間、言葉と行いで天の御父を敬うように教えられてきたというのに、つい口を滑らせて特に攻撃的な言葉を発してしまったことに罪悪感を覚えながら、わたしは立ち尽くしていました。

下品な言葉を言うつもりはありませんでした。その年までは、汚い言葉はいっさい使ったことはありませんでした。しかし、その年の夏にユタ州の魚類鳥獣部で働いたとき、一緒に働いていたほかの少年たちの影響で、そのような言葉を使う習慣が身に付いてしまったのでした。

おもな仕事は、州の道路わきの雑草を刈ることでした。仕事を始めてすぐに、このアルクチュウムミヌス（訳注——オナモミのように、実がとげで覆われている雑草で、アメリカのほぼ全土にはびこる）という雑草が特に厄介な雑草であることが分かりました。あらゆるところに群生し、ほとんどの植物を追いやってしまいます。その実は、近づく物には何でもくっつくのです。

手にシャベルを持って、夏中その厄介な強敵と闘い続け、挙げ句の果てに疲労困憊こんぱいして、汚い言葉を使うようになっていました。最初わたしは、ほかのみんなの言葉に抵抗を感じましたが、やがて受け入れるようになり、ついに自分も使うようになっていました。夏の終わりごろには、犬の毛に付いて取れないあの厄介な雑草の実のように、下品な言葉はわたしの言葉にしっかりとからみついてしまっていました。

うっかり口を滑らせたわたしに対して母が見せ



犬の毛に付いて
取れない厄介な
雑草の実のように、
下品な言葉は
わたしの言葉に
しっかりと
からみついてしまっ
ていました。

た反応を見て、わたしは自分が変わる必要があると確信しました。

それはたやすいことではありませんでした。下品な言葉は、ただ言葉を選んで使うというよりも、考え方のパターンでもあるのです。自分の生活でどのような言葉を使うか、どのような言葉を読むか、どのような映像を見るかは、わたしたちの思いを形作ります。自分の使う言葉を変えたければ、自分の頭の中に招き入れてしまったものを変えなければならないことにすぐに気づきました。

ありがたいことに、わたしは教会やセミナーに活発に通っていました。下品な言葉によって、高められた思いが追いやられてしまいましたが、高められた思いに触れる環境に身を置くことで、再び自分の中にそのような思いが定着し始めました。毎日聖文と祈りに集中し、暗い思いを再び抱かせるような映画やテレビ番組を避けるようにしました。

徐々に、わたしの言葉は良くなっていき、その年の終わりまでには、下品な言葉を使わずにいられるようになりました。

その経験をして以来、言葉の力について多くを学びました。言葉は何かを創り出すこともできれば、壊すこともできます。傷つけることもできれば、癒いよすこともできます。人々の状態を低くしてしまうこともできれば、希望と愛の種をまくこともできるのです。

天と地の創造主であられる救い主が、御自身を「言葉」と表現しておられるのは興味深いことです（ヨハネ1:1-4；教義と聖約93:6-11参照）。

“Swear”という言葉には、良い意味と悪い意味の両方があることを学びました（訳注——英語の“swear”には、「誓う」という意味と「下品な言葉を使う」という意味がある）。わたしたちは裁判所で、真実を語ることを誓います。バプテスマを受けるとき、神の戒めを守るという神聖な約束をし、誓います。同じように、天の御父の最も偉大な祝福を受けるために、神殿の聖約を守るという、神聖な約束を交わします。

重要なのは、わたしたちの言葉が主を敬い、主の栄光を表すものであるとき、わたしたちは「言葉」であられる主のようになる、ということです。■



デビッド・O・マッケイ

デビッド・O・マッケイは、ユタしゅう ハンツビル にある かぞくの のう じょうで そだちました。どうぶつが 大^{だい}すきで、しょうがいに わた^{わたくし}って馬^{うま}をかいました。イギリスで でんどうしたとき、ある ことば^{ことば}を みつけ、それが かれの モットーに なりました。それは「あなたが なに^{なに}のもので あろうとも、みずからの つとめを はたしなさい」という ことば^{ことば} でした。その後^ごも なん^{なん}ども イギリスを おとずれました。1958年^{ねん}には、イギリス^{イギリス}・ロンドンしん でんを ほうけんしました。



「**両**親や指導者であるわたしたちは、数か月の間、専任宣教師になる準備を助けるだけでなく、神殿の聖約を交わし永遠にわたってそれを守ることができるように助ける必要があります。その第一歩は子供のときに始まります。」18ページの「10代の若者と神殿の聖約」をご覧ください。この記事をはじめ、今月号の記事はどの年齢の会員にとっても、福音を伝え、福音に従った生活をするために役立ちます。

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

JAPANESE



10790 300